

第2次雲仙市総合計画

前期基本計画 成果指標達成状況

○将来像 “つながり”で創る
賑わいと豊かさを実感できるまち

○計画期間

基本構想	平成29年度～平成38年度
前期基本計画	平成29年度～平成33年度
後期基本計画	平成34年度～平成38年度



平成31年 3月

- 基本方針1 暮らしと安心
- 基本方針2 産業と交流
- 基本方針3 社会基盤と環境
- 基本方針4 人財と郷土
- 基本方針5 協働と戦略

雲仙市総合計画 前期基本計画 成果指標達成状況

はじめに

雲仙市は、平成29年3月に「第2次雲仙市総合計画」を策定しました。
この計画は、第1次となる雲仙市総合計画が平成28年度に終了することに伴い、「雲仙市総合計画等審議会」を中心に、「市民アンケート調査」、「パブリックコメント」など、市民の皆様からいただいた様々なご意見を踏まえて策定しており、さらに本市の地方創生を確立するため、「雲仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を内包した計画となっています。
雲仙市の将来像として、「“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち」を掲げ、その実現のため5つの基本方針を設定しています。

このたび、この5つの基本方針にそって、各政策・施策の推進の成果を示す「平成29年度成果指標」の進捗状況をまとめましたので、市民の皆様へお知らせします。
これは、目標値と平成29年度の実績値を比較することができ、目標達成のための取組みの進捗状況を明らかにしたものです。

達成状況

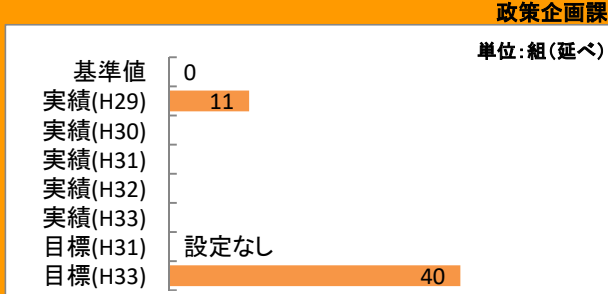
基本方針	達成数	目標数
暮らしと安心	18	50
産業と交流	10	52
社会基盤と環境	3	25
人財と郷土	4	22
協働と戦略	6	19
計	41	168

基本方針1 暮らしと安心

政策1-1 出会い・結婚・移住・定住

出会いから結婚、移住・定住を総合的に応援し、人口減少に歯止めをかけます。

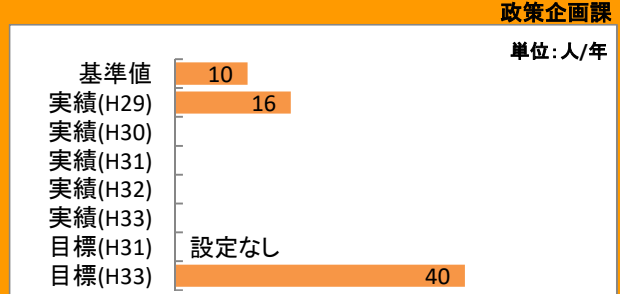
マッチング成立数(H26以降の累計)



◎説明

H26:0組(延べ:0組)
H27:3組(延べ:3組)
H28:2組(延べ:5組)
H29:6組(延べ:11組)
市内婚活イベント団体が実施する婚活イベントによるマッチング数。

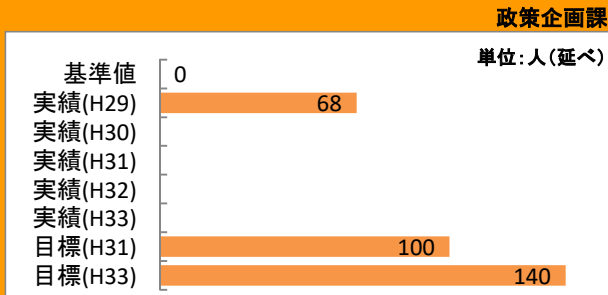
婚活支援講座参加者数



◎説明

H26:10人
H27:25人
H28:14人
H29:16人

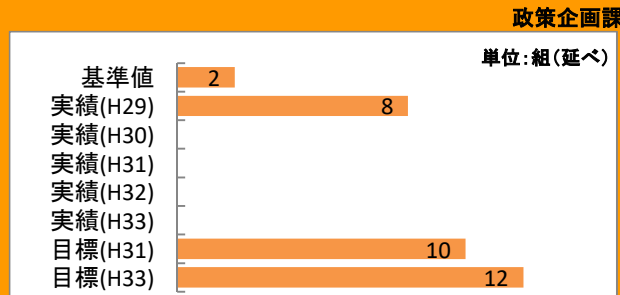
幸せ運ぶメールマガジン登録者数(H26以降の累計)



◎説明

H26:0人(延べ:0人)
H27:30人(延べ:30人)
H28:22人(延べ:52人)
H29:16人(延べ:68人)

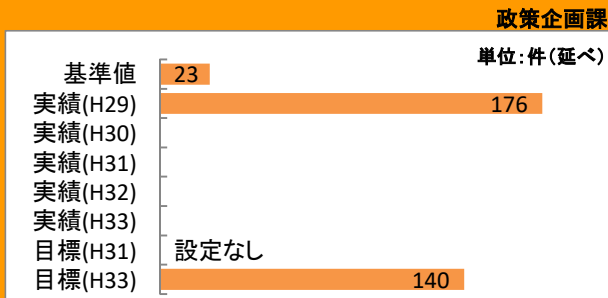
婚活支援事業による成婚数(H26以降の累計)



◎説明

H26:2組(延べ:2組)
H27:2組(延べ:4組)
H28:2組(延べ:6組)
H29:2組(延べ:8組)

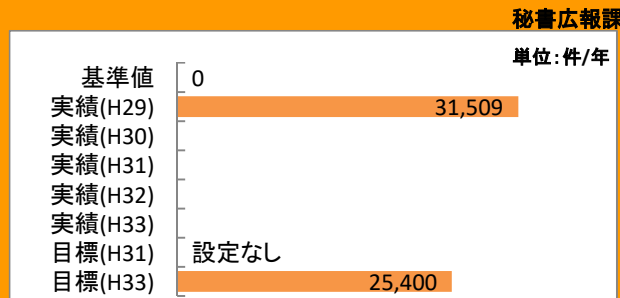
移住相談件数(H26以降の累計)



◎説明

H26:23件(延べ:23件)
H27:26件(延べ:49件)
H28:56件(延べ:105件)
H29:71件(延べ:176件)

スマートフォン用ホームページアクセス件数

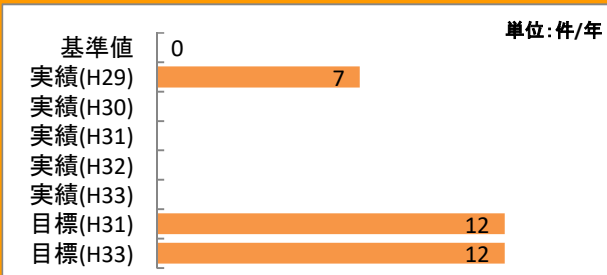


◎説明

(特になし)

居住お試し件数

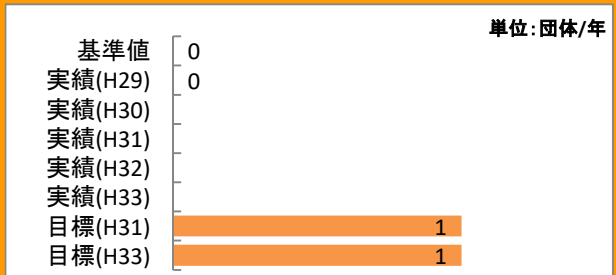
政策企画課



◎説明
H29:7件
※平成29年度から運用開始。

移住受け入れ組織数

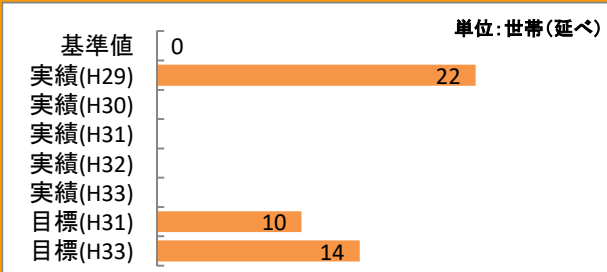
政策企画課



◎説明
(特になし)

移住者数(窓口経由)(H26以降の累計)

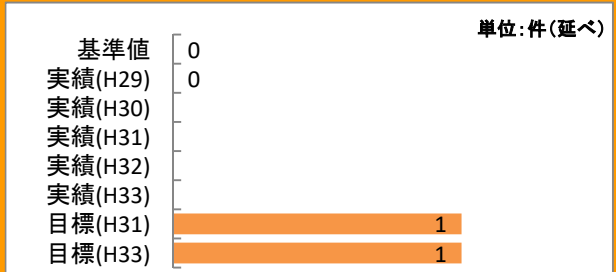
政策企画課



◎説明
H26:0世帯(延べ:0世帯)
H27:1世帯(延べ:1世帯)
H28:8世帯(延べ:9世帯)
H29:13世帯(延べ:22世帯)

雲仙市版CCRC構想の策定件数(H26以降の累計)

政策企画課



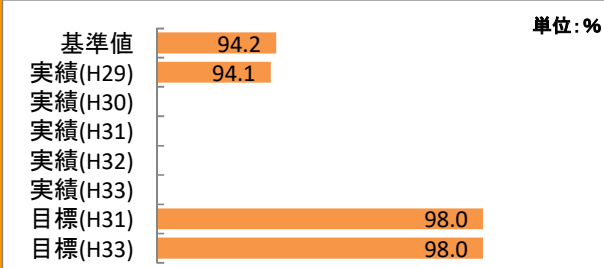
◎説明
(特になし)

政策 1-2 子育て支援

家庭・職場・地域が一体となり安心して子どもを産み育てることができる環境を育みます。

赤ちゃん健康相談出席率

子ども支援課



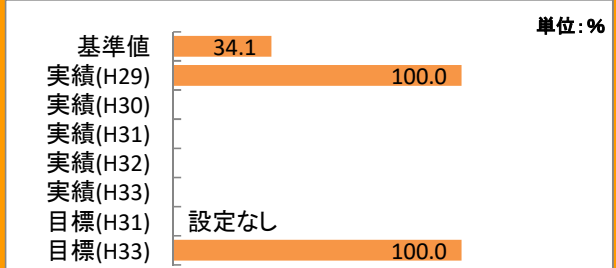
◎説明

H29年度は、対象者272人に対して受診者が256人で94.1%であった。個別通知や母子保健推進員による声かけにより、90%以上の受診率を保っている。

未受診者には、訪問および電話等で状況を確認し、対応している。未受診の理由としては里帰り、体調不良(入院中)等で、やむを得ず受診ができない方であった。

乳児家庭訪問実施率

子ども支援課

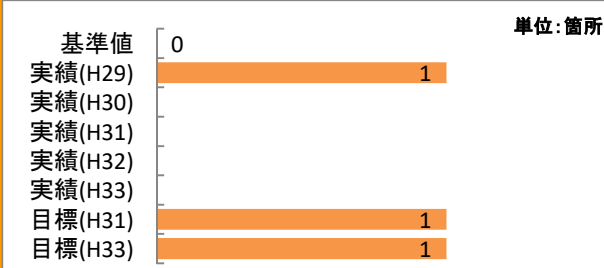


◎説明

H29年度は、対象者277人に対して、保健師による家庭訪問等の支援が268人、委託した助産師による訪問支援が9人、合計277人の100%であった。

(子育て相談)利用者支援事業設置箇所数

子ども支援課



◎説明

健康福祉部子ども支援課に嘱託職員を1名配置し、平成28年度から事業開始。

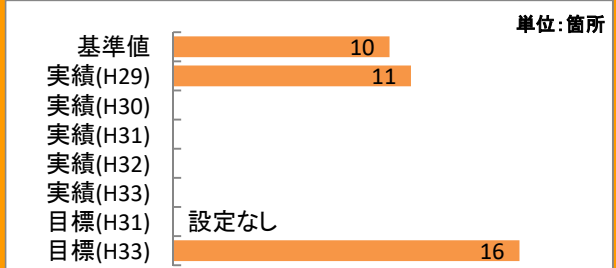
【相談件数】

平成28年度・・・551件

平成29年度・・・651件

放課後児童健全育成事業実施箇所数

子ども支援課

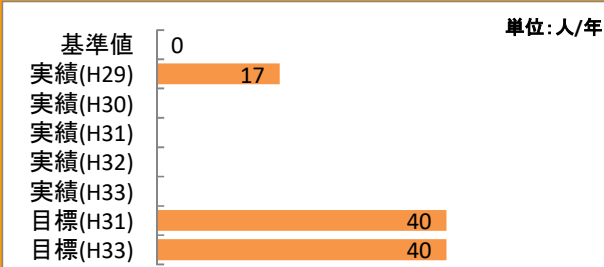


◎説明

平成29年度に南串山地区に1ヶ所増設する計画であったが、南串山地区では、保育所3ヶ所において学童保育(放課後児童健全育成事業と同様に放課後の小学生を預かる事業)を実施しており、ニーズが充足していること、各保育園が学童保育から放課後児童クラブへ移行する意向がないことが確認されたため、計画を変更し、増設しないこととした。

特定不妊治療費助成事業実人員

子ども支援課



◎説明

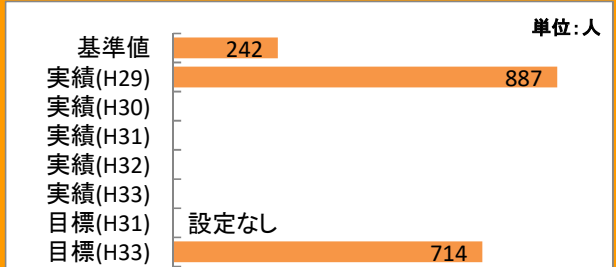
事業実績の延べ件数は27件で、治療種別の実人員数は次のとおりです。

○新鮮胚移植または採卵・凍結胚移植・・・10人

○凍結した胚の移植またはその他・・・・・・7人

保育料無料対象児童数(H28よりすこやか子育て支援事業対象者拡充)

子ども支援課



◎説明

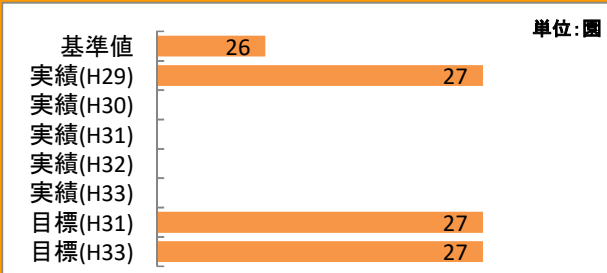
平成28年度に対象者を拡大したため、基準値を大幅に上回る実績となる。

平成26年度までの対象者・・・小学4年生以下の児童を3人以上扶養しており、3人目以降の児童が保育園または幼稚園、認定こども園に入所した場合、3人目以降の児童の保育料を免除。

平成28年度からの対象者・・・第2子以降が保育園、幼稚園、認定こども園に入所する場合の保育料を免除。

延長保育実施園数

子ども支援課

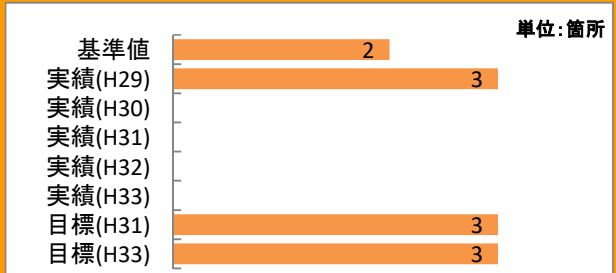


◎説明

市内の延長保育の実施が必要な全ての保育園、認定こども園で実施された。

病児・病後児保育事業実施箇所数

子ども支援課

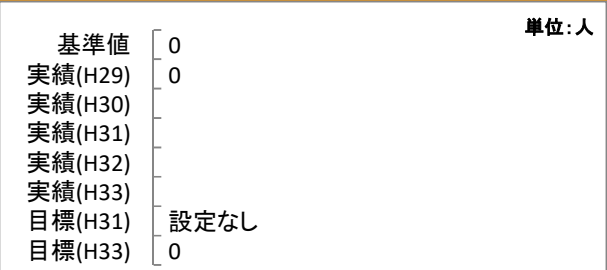


◎説明

施設型:2ヶ所(国見町1ヶ所、小浜町1ヶ所)に加え、訪問型を実施。小浜町の1ヶ所については、平成29年9月から開設。

待機児童数

子ども支援課



◎説明

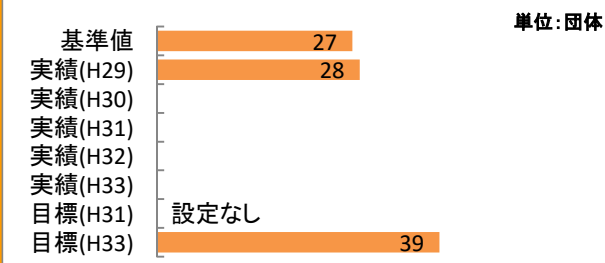
保育園や認定こども園へ入所を希望する児童を全て入所させることができた。

政策 1 - 3 地域福祉・高齢者福祉

住み慣れた地域で、いくつになっても安心して、いきいきと暮らせる福祉のまちづくりを進めます。

見守り活動に関する協定の締結団体数(累計)

福祉課

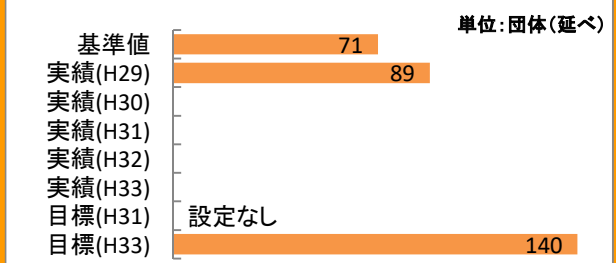


◎説明

H29年度においては、新たな団体との協定には至らなかったが、「高齢者等SOSオレンジネットワーク」制度を創設することにより、新たな地域での見守り活動を構築した。

地域ふれ愛ささえ愛事業補助対象団体数

福祉課

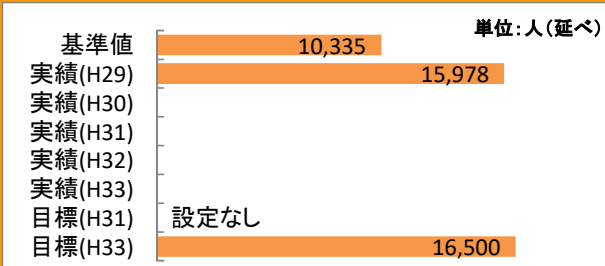


◎説明

H28年度末の実績値は83団体(27自治会)
H29年度に6団体(2自治会)の新規結成があり、延べ89団体(29自治会)となった。

介護予防教室の年間参加者数

福祉課

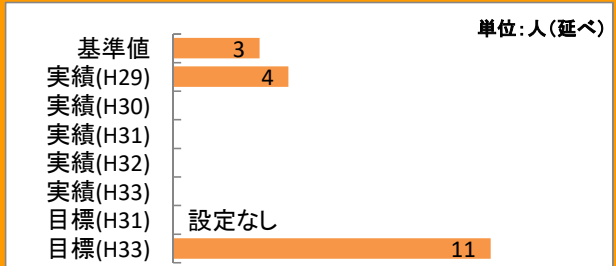


◎説明

H29年度は介護予防教室を新規に3カ所立ち上げ、年度途中で1カ所閉鎖したことで、実質2カ所の増加があり、前年度13,884人に比べ2,094人増加した。

成年後見制度利用者数

福祉課

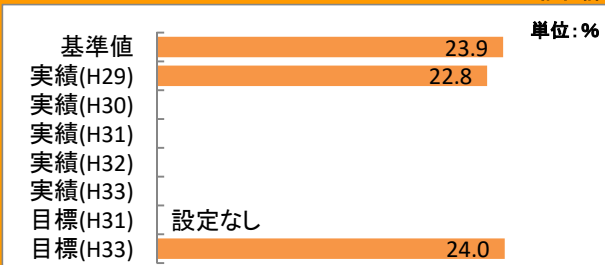


◎説明

29年度については、市長申立申請が2件、後見人報酬支払について2件となった。

65歳以上に占める要支援・要介護者の介護認定率

福祉課

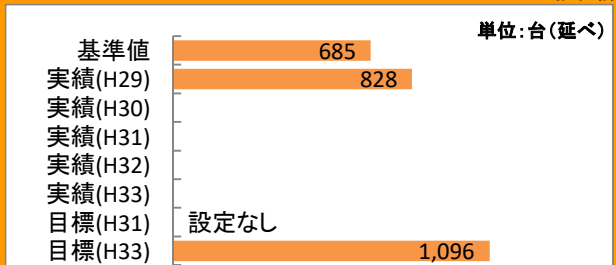


◎説明

介護保険課から毎月送付される要介護認定率の報告により確認。

緊急通報システムの累計設置台数

福祉課

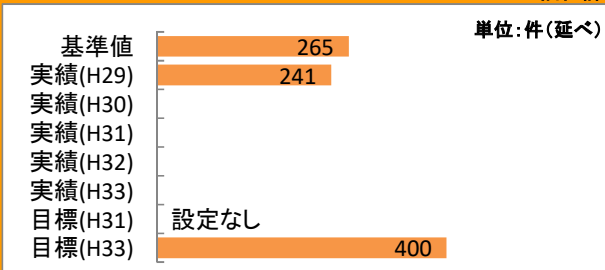


◎説明

H28年度末の実績値は777台、H29年度末の実績値は828台で年度実績目標60台に対して51台だった。
H28年度末の実利用台数は362台、H29年度中の新規設置台数47台、撤去台数42台で実利用台数が5台増加しH29年度末の実利用台数は367台となった。

高齢者相談年間件数

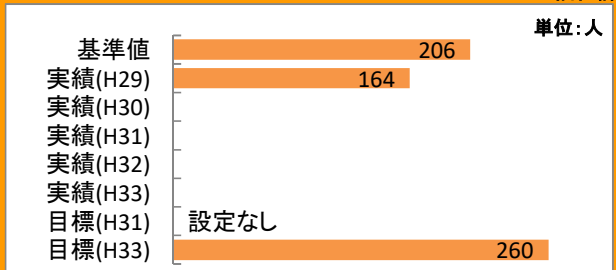
福祉課



◎説明
相談者では、65歳以上が183人、以外が58人となっている。

シルバー人材センター年間加入会員数

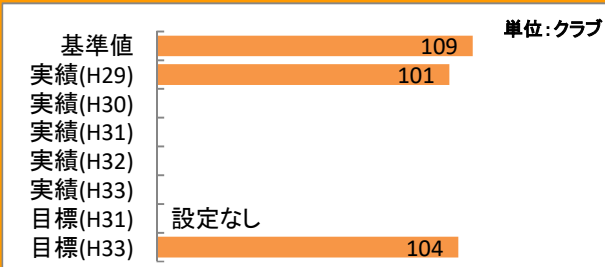
福祉課



◎説明
会員数164人(男119、女45)については、定年の延長等により、新規入会者の減少が見られ会員数の減となった。

老人クラブ数(老人クラブ連合会加入数)

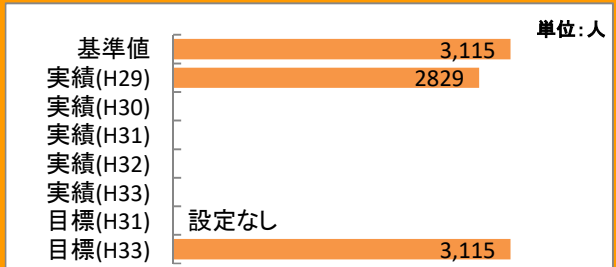
福祉課



◎説明
老人クラブの会員数の減少に伴いクラブ数が減少したと思われる。(H28・4,531人、H29・4,327人)

社協・老人クラブ連合会開催スポーツ大会参加者数

福祉課



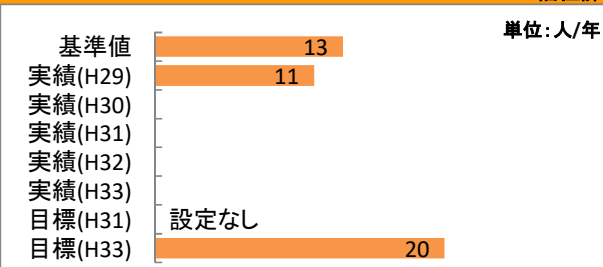
◎説明
社協・老人クラブ連合会の活動報告より確認。
昨年に比べ大会数の減少と参加者の減少が見られた。

政策 1-4 障がい者福祉

障がい者が住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域社会を育みます。

障害者就業・生活支援センター支援による就業者数

福祉課

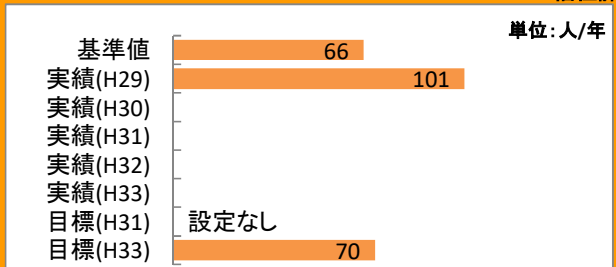


◎説明

障害者就業・生活支援センター登録者のうち、雲仙市の就業者数

計画相談支援事業利用者(児童含む)

福祉課

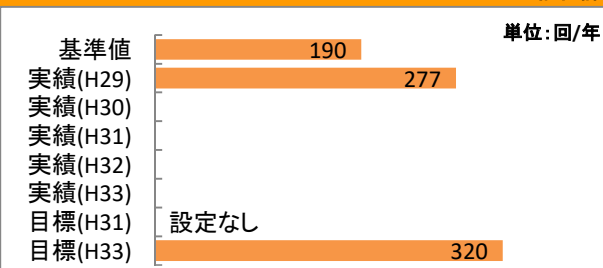


◎説明

福祉サービスの利用希望者が増えたことに伴い、障害者・障害児の計画作成も比例して増加した。

障がい者が外出や通学時に利用するヘルパー支援の利用回数

福祉課

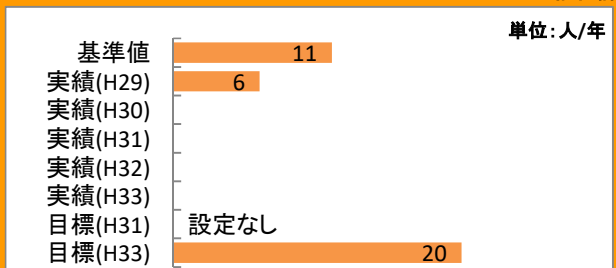


◎説明

H29年度は身体障害者6、知的障害者202、精神障害者3、障害児66回の利用があった。今後も微増すると思われる。

手話奉仕員養成講座受講者数

福祉課

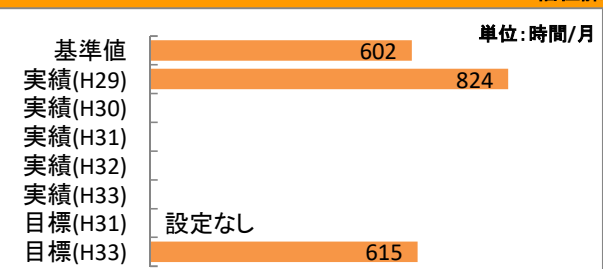


◎説明

H28年度に入門課程へ8名が参加、うち6名が受講修了となった。その6名がH29年度の基礎課程へ進み、受講修了となった。

訪問系サービスの利用時間数

福祉課



◎説明

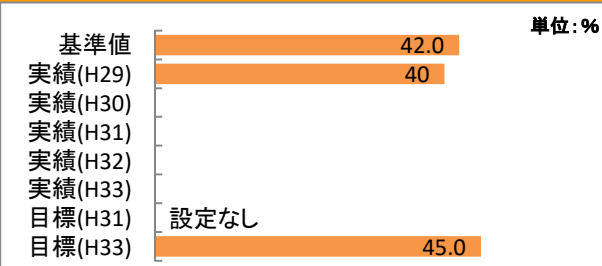
訪問系サービス(居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護)の月間利用時間。H28年度は768時間/月に対し、H29年度は824時間となっており、特に居宅介護の利用者が増えたことで、利用時間も増加した。

政策 1-5 健康・医療体制

主体的に健康づくりに取り組める環境づくりと安心の医療体制を整備します。

特定健康診査受診率

総合窓口課・健康づくり課

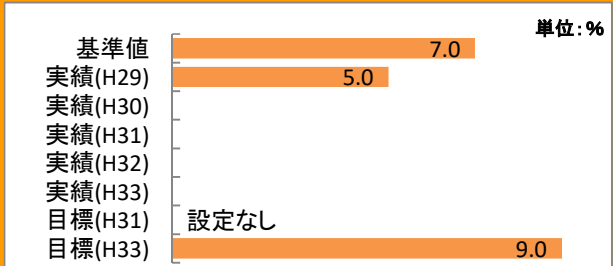


◎説明

- ・南高医師会に委託契約
- ・実施期間 平成29年5月9日～30年2月28日まで
- ・集団健診 44日(午前26日・午後18日)
- ・個別健診 45医療機関(雲仙市:22、南島原市23)
- ・人間ドック 10医療機関(雲仙市:5、南島原市5)
- ・対象者数 9,492人
- ・受診者数 3,801人
- ・受診率 40.0%
- ・特定健康診査(国保被保険者40～74歳)の受診者数により受診率を算出する。年度内の資格喪失者は、対象者数・受診者数から除く。

胃がん検診

健康づくり課



◎説明

- ・H29年度より国の算定基準に併せ、対象者を全市民と変更した為、受診率が大幅に減少。
- ・胃がん検診の受診状況(H29年度)
対象者数:29,783人(40歳以上)
受診者数:1,488人(集団:966人 個別:522人)

肥満者(BMI:25以上)の割合(20～60歳代男性)

健康づくり課

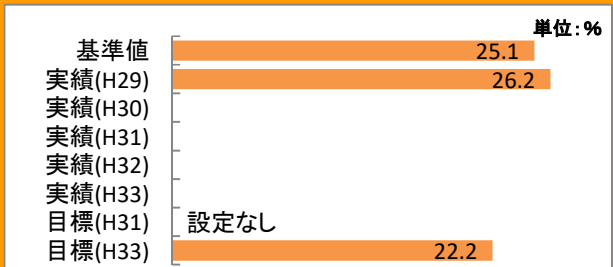


◎説明

- ・特定健診、若年者健診受診者の内BMI25以上の割合。
- ・受診者1,420人、肥満者516人

肥満者(BMI:25以上)の割合(40～60歳代女性)

健康づくり課

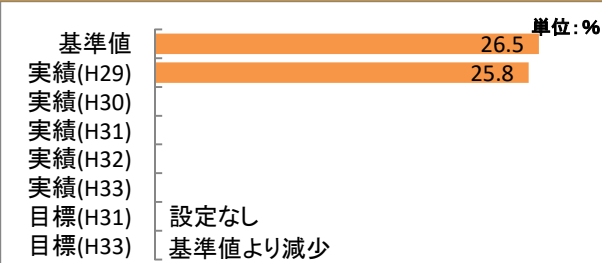


◎説明

- ・特定健診、若年者健診受診者の内BMI25以上の割合。
- ・受診者1,573人、肥満者413人

成人の喫煙率の減少(男性)

健康づくり課

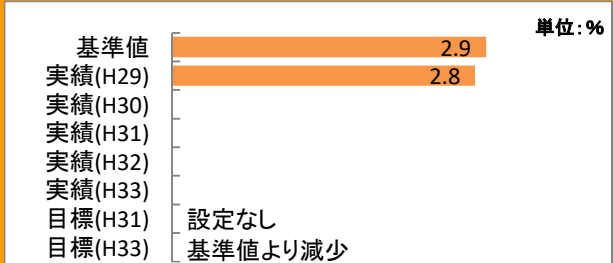


◎説明

- ・特定健診受診者の内、問診でタバコを習慣的に吸っていると答えた方の割合。
- ・男性:1,751人、喫煙者452人

成人の喫煙率の減少(女性)

健康づくり課



◎説明

- ・特定健診受診者の内、問診でタバコを習慣的に吸っていると答えた方の割合。
- ・女性:2,050人、喫煙者57人

自殺者数(人口10万人あたり)

健康づくり課

	単位:人/年
基準値	34.4
実績(H29)	—
実績(H30)	—
実績(H31)	—
実績(H32)	—
実績(H33)	—
目標(H31)	設定なし
目標(H33)	基準値より減少

◎説明
現時点で算出不可

公立新小浜病院の整備

健康づくり課

基準値	—
実績(H29)	実施設計
実績(H30)	—
実績(H31)	—
実績(H32)	—
実績(H33)	—
目標(H31)	完成
目標(H33)	H31完成済み

◎説明
実施設計

自宅等死亡割合(老健+老人ホーム+自宅)

福祉課

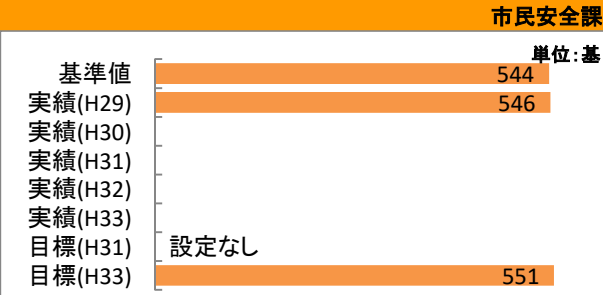
	単位:%
基準値	13.5
実績(H29)	現時点で
実績(H30)	算出不可
実績(H31)	—
実績(H32)	—
実績(H33)	—
目標(H31)	設定なし
目標(H33)	増加(15.6)

◎説明
長崎県のホームページで公表されている平成28年度長崎県衛生統計年報報告において確認したところ、現時点では28年度までの報告となっている。
27年度が9.9%、28年度が10.9%と少しずつ増加している。
(参考平成28年度:県18.6%、全国22.2%、島原市17.1%、南島原市16.5%)

政策 1-6 暮らしの安全確保

災害や犯罪、事故を未然に防ぎ、市民の尊い生命と財産を守ります。

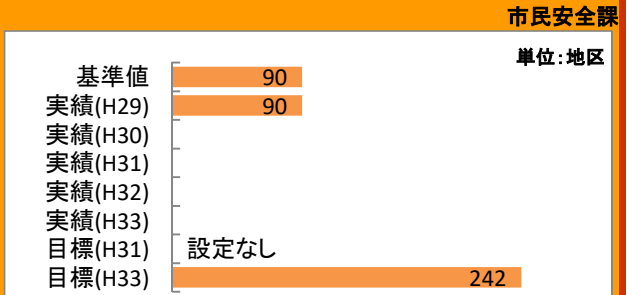
防火水槽の設置数(20t以上)



◎説明

H29年度 新設(40t 1箇所)、改修(40t 1箇所)

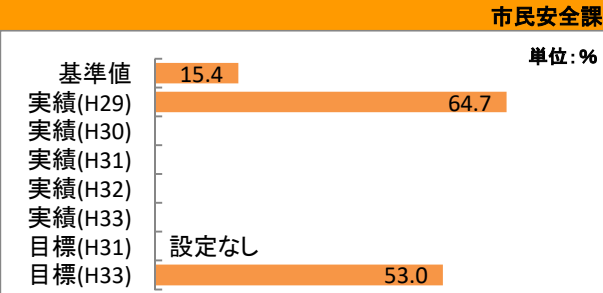
自主防災組織地区数



◎説明

(特になし)

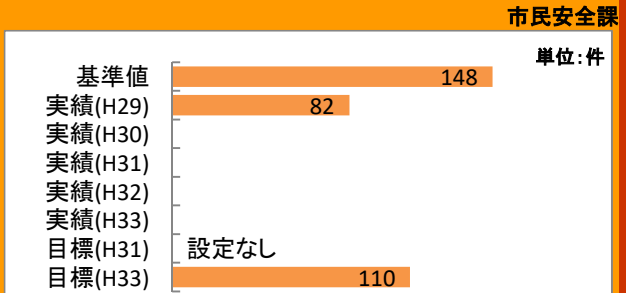
防犯灯のLED化率(H26以降の累計)



◎説明

LED化率は $2,421/3,741=64.7\%$ となっており、目標値の根拠と比較して分かるとおり、新設が少なく器具取替が多いため、当初の計画よりLED化率が高くなっている。
昨年、一昨年とLED化率が10%以上していたが、今後は緩やかな上昇となり、設置数が増加していくことが考えられる。

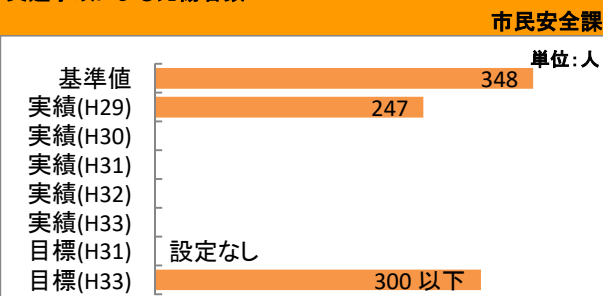
刑法犯罪発生件数



◎説明

前年の114件より大幅に減少している。
引き続き防犯協会などの各種関係団体との連携を深め、啓発活動の充実を図り、刑法犯罪の防止に努める。

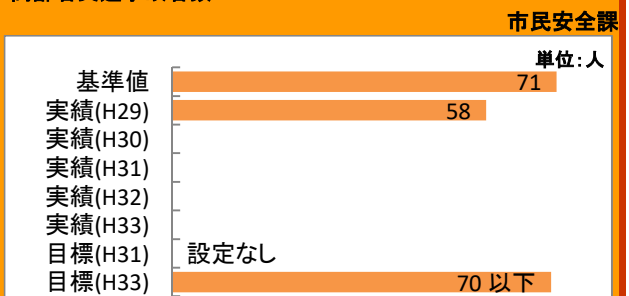
交通事故による死傷者数



◎説明

H29は死者数4名で前年より1名増加しているが、負傷者数は243名と前年の383名から大幅に減少している。
年度により増減があるが、H26から全般的に減少傾向にある。
引き続き交通安全協会などの各種関係団体との連携を深め、交通安全教育や、啓発活動の充実を図り、交通事故防止に努める。

高齢者交通事故者数

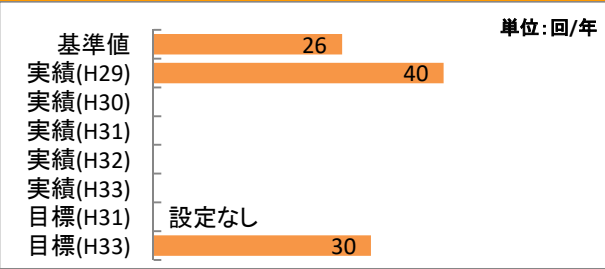


◎説明

H29は死者数3名で前年より1名増加しているが、負傷者数は55名と前年より11名減少している。
年度により増減があるが、H26から全般的に減少傾向にある。
引き続き交通安全協会などの各種関係団体との連携を深め、交通安全教育や、啓発活動の充実を図り、交通事故防止に努める。

消費生活関係出前講座開催回数

地域づくり推進課



◎説明

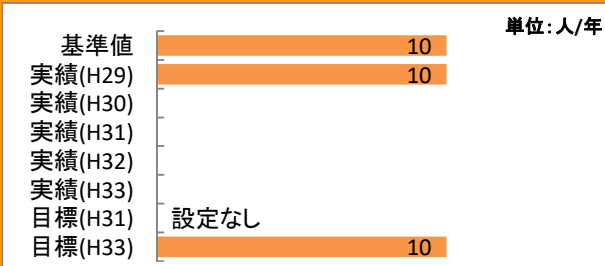
ころばんごとがんばらんば体操教室 31回
 いきいきサロン 4回
 老人クラブ 3回
 自治会 2回

政策 1-7 低所得者福祉

低所得者の自立を支援します。

就労支援による就労開始者数

保護課

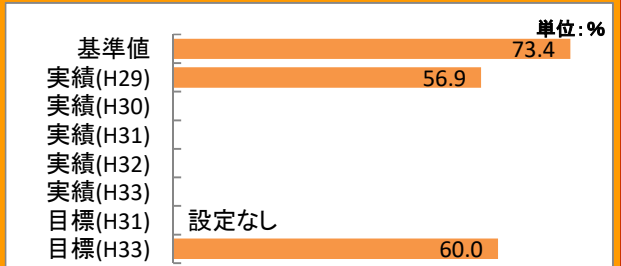


◎説明

生活保護受給者等就労自立北進事業 9人
 被保護者就労支援事業 1人

稼働年齢層への就労支援による就労率

保護課



◎説明

H29年度 29人(就労達成者数)÷51人(就労支援促進計画参加者数)
 (解説)
 生活保護費を受給している人で、働く意欲や能力がある人を対象として、求職就労支援促進計画事業に、登録を行ない、ハローワークの巡回相談などを通じて、求人情報の提供を行なった。
 登録者51人の内、29人が就労した。

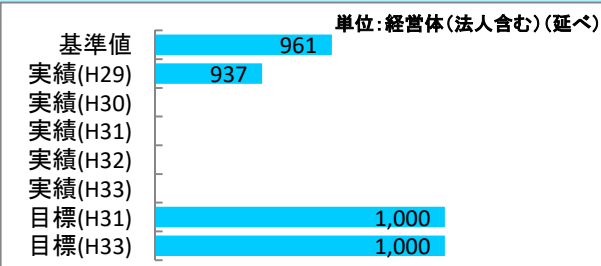
基本方針2 産業と交流

政策2-1 農業

国内外の競争に勝ち抜く日本屈指の農業を確立します。

認定農業者数

農林水産課

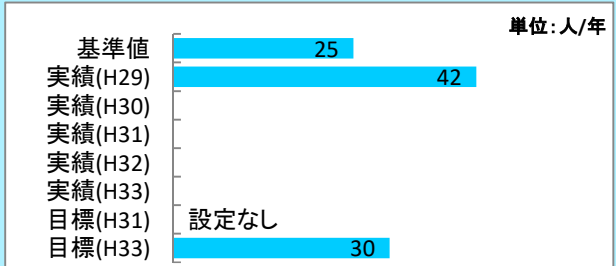


◎説明

高齢や後継者不足等の理由により、更新をしない人が多かったため。
新規: 24人
辞退者・認定切れ: 37人

新規就農者数

農林水産課

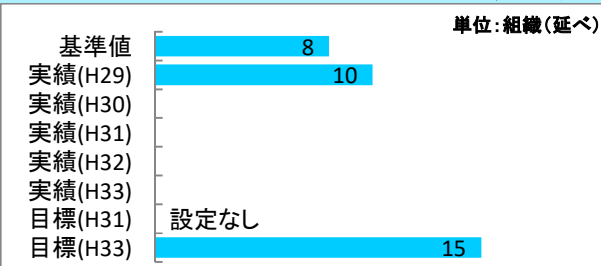


◎説明

島原振興局雲仙地域普及課調べ

集落営農組織数

農林水産課

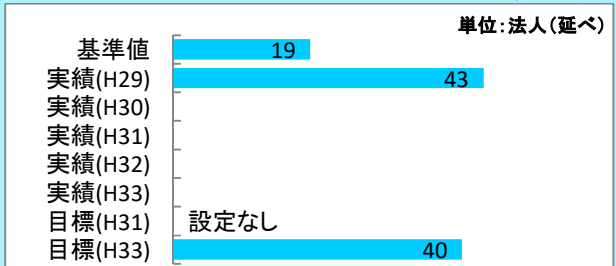


◎説明

県への集落営農組織等取組状況調査報告数

農業生産法人数

農林水産課

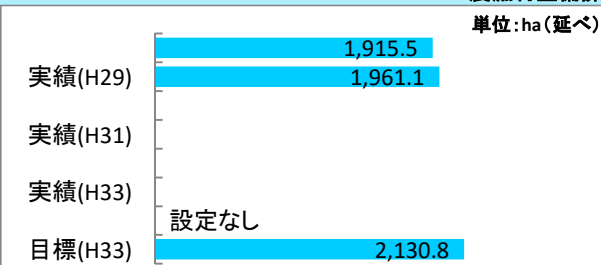


◎説明

農業委員会及び島原振興局農業生産法人調査の実績

農地の区画整理面積

農漁村整備課

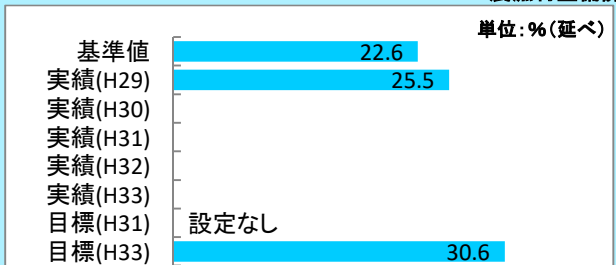


◎説明

H29年度の実績
水田面積 1,294.90ha
畑面積 666.17ha
合計 1,961.1ha

畑のほ場整備率

農漁村整備課

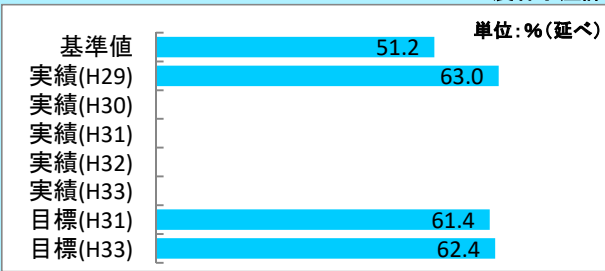


◎説明

H29年度の実績
畑の耕地面積(第64次より) 2,617ha
H28年度までの整備面積 653.27ha
山田原第2地区整備面積 12.90ha
・畑の区画整理面積: 666.17ha / 畑の耕地面積: 2,617ha × 100 = 整備率: 25.5%

農地集積率

農林水産課

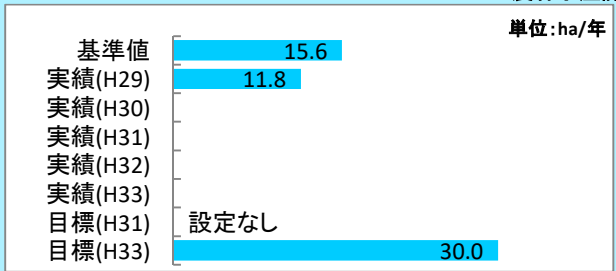


◎説明

実績数値につきましては、農林水産課、農地中間管理機構事業等からの実績

年間耕作放棄地解消面積

農林水産課

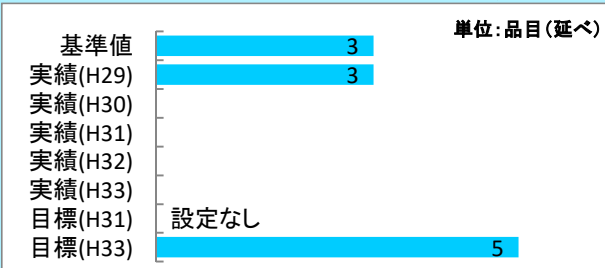


◎説明

国補助事業活用: 4地区、計1.2ha
市単独補助事業活用: 3地区、計0.9ha
自己解消: 9.7ha
H29年度より、国の耕作放棄地解消事業が1地区に対し総事業費200万円未満という条件に変更になり、限られた面積での解消事業しか活用できず、解消面積が伸びなかった。

長崎県特別栽培農産物数

農林水産課

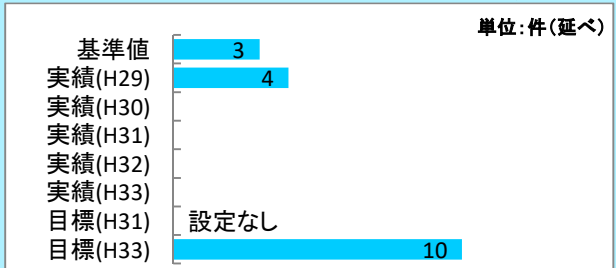


◎説明

認証品目: 春馬鈴薯、秋馬鈴薯、たまねぎ

有機JAS認定件数

農林水産課

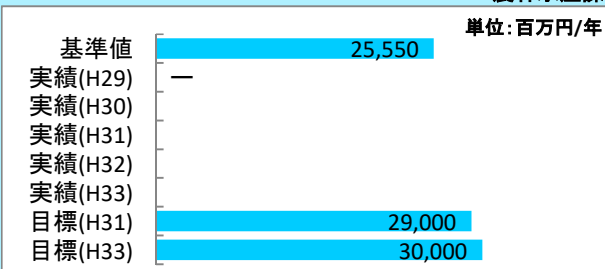


◎説明

野菜農家…4件

農業産出額

農林水産課



◎説明

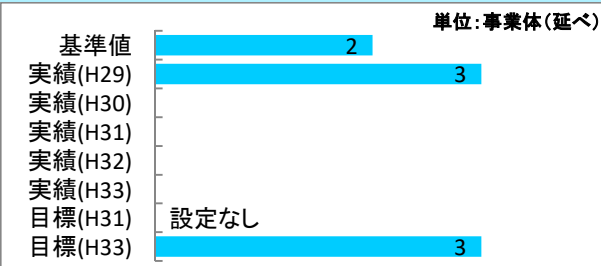
H31.3判明

政策 2-2 林業

持続可能で経営効率の高い林業を推進します。

認定林業事業体数

農林水産課

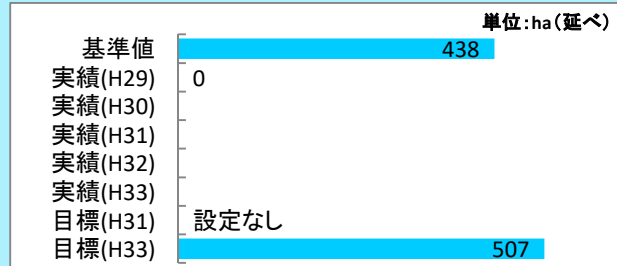


◎説明

南高建設㈱が新たに認定林業事業体となった。

森林経営長期受委託契約面積

農林水産課

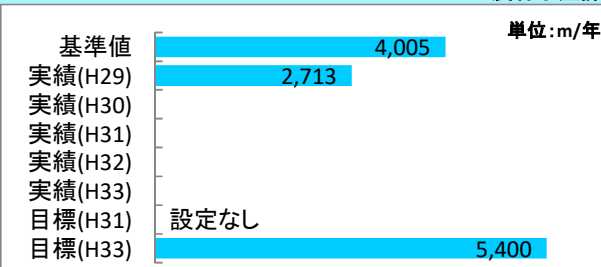


◎説明

私有林については前年度までの森林経営計画の実行のため、森林経営計画の新規策定がなされなかったため、それに伴う森林所有者との長期受委託がなされなかった。

路網の整備

農林水産課

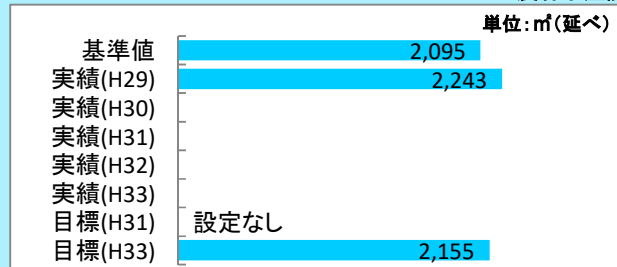


◎説明

市有林列状間伐による路網整備延長1633m
雲仙森林組合等が私有林の列状間伐による路網整備延長1080m

保安林面積

農林水産課

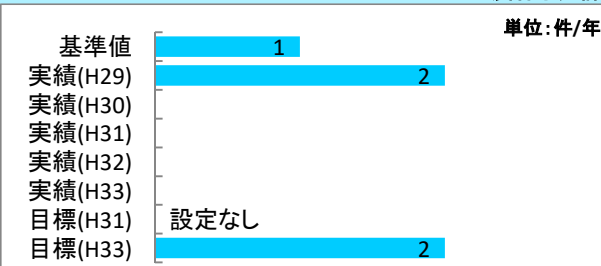


◎説明

平成29年度に新たな保安林指定及び解除はなかった。

森林経営計画策定件数

農林水産課

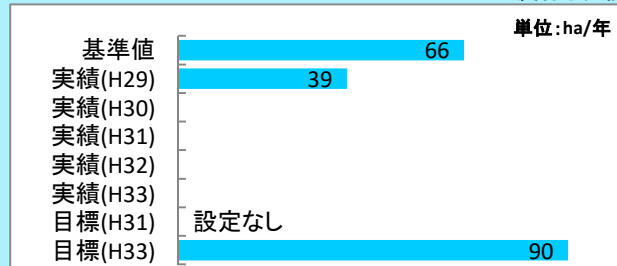


◎説明

千々石団地(作成者=雲仙市) 1件
国見町神代団地(作成=鍋島林業株式会社) 1件

利用間伐面積

農林水産課



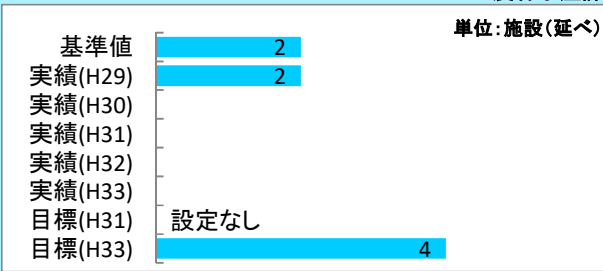
◎説明

市有林間伐面積 20ha
私有林間伐面積 19ha
の実績

県産材利用の公共施設数

農林水産課

単位:施設(延べ)



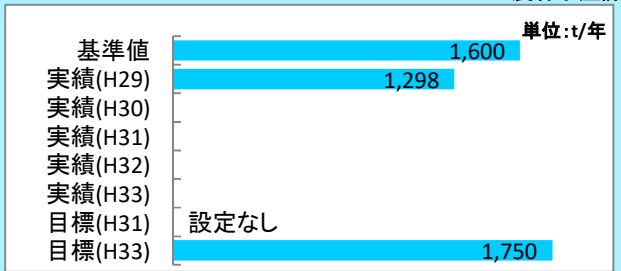
◎説明

平成29年度には県産材を使用した公共施設の実績はなかった。

特用林産物産出量

農林水産課

単位:t/年



◎説明

乾しいたけ.....33, 851kg

生しいたけ...1, 264, 352kg

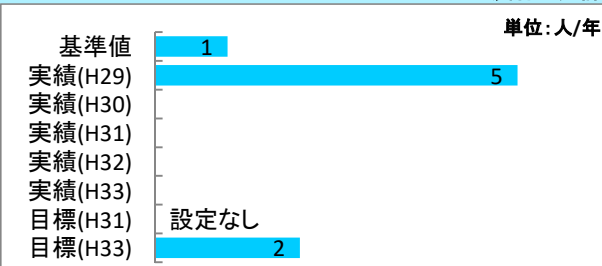
H29年度は長崎能力開発センターが生産を行わなかった等の影響により、基準値を下回った。

政策 2-3 水産業

生産環境の整備と付加価値向上により、持続可能な水産業を確立します。

新規漁業就業者数

農林水産課

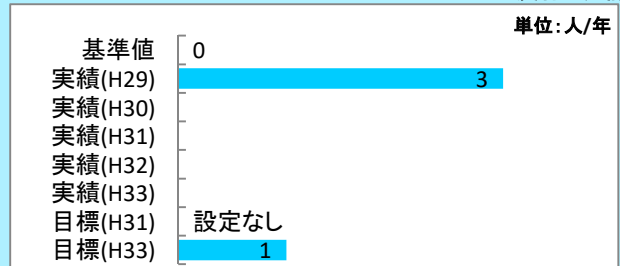


◎説明

南串山…3人、小浜…1人、瑞穂…1人

経営改善個別指導

農林水産課

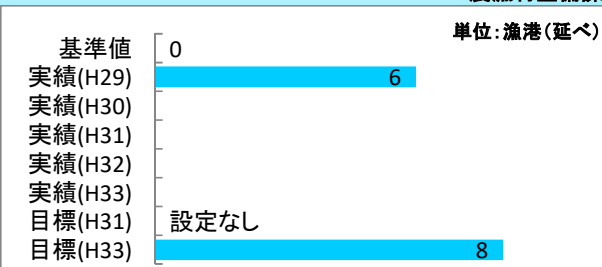


◎説明

南串山…1人、小浜…1人、瑞穂1人

機能保全計画策定漁港数(漁港施設の機能診断)

農漁村整備課

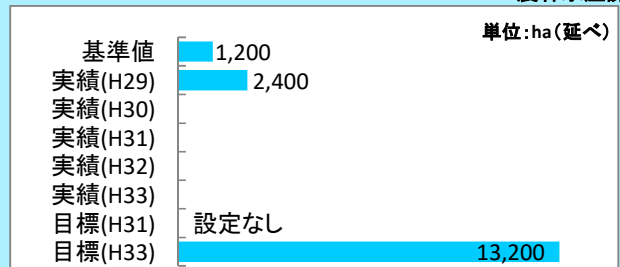


◎説明

H29年度の実績
 千石漁港、富津漁港(木津地区、富津地区)
 木指漁港(木指地区、飛子地区)、京泊漁港
 (※計画策定予定の漁港数は、漁港合併前の旧漁港名で算定)

橋湾堆積物除去

農林水産課

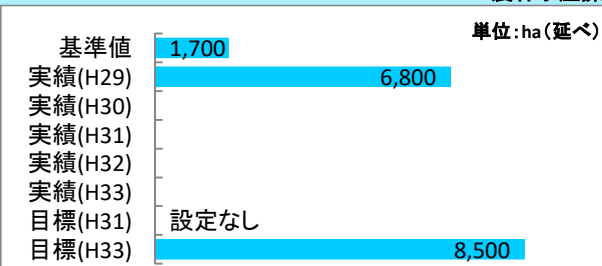


◎説明

平成29年度に予定された計画地域で計画面積を実施

有明海海底耕耘

農林水産課

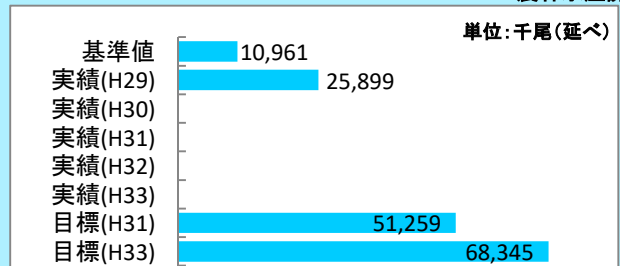


◎説明

平成29年度に予定された計画地域で計画面積を実施

種苗放流(稚魚)

農林水産課



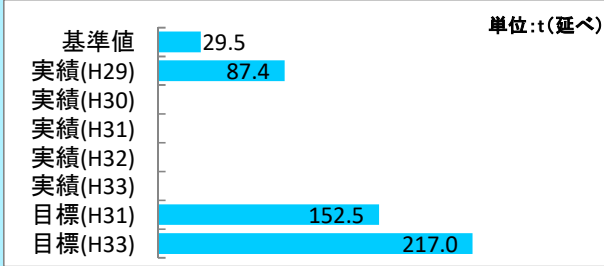
◎説明

補助事業費の縮小や種苗費の上昇等により、数量確保が厳しい状況である。事業費の拡大については、各漁協消極的であるため、目標数値達成が厳しい状況であり、引き続き事務局と協議を行なう予定。

種苗放流(アサリ)

農林水産課

単位:t(延べ)



◎説明

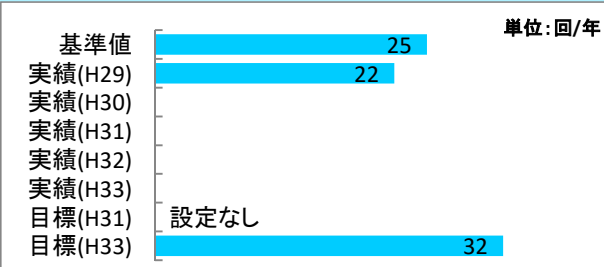
補助事業費の縮小により、種苗数確保が厳しい状況にある。漁協自主財源も増額は厳しい状況である。

政策 2-4 物産ブランド

物産のブランド化により、販路拡大を進めます。

「雲仙ブランド」のPR活動及び商談会回数

観光物産課



◎説明

市内:4回、市外:18回

【市外の内訳】

東京都:6回、長崎市:5回、島原市:3回、福岡県:2回、愛知県:1回、熊本県1回

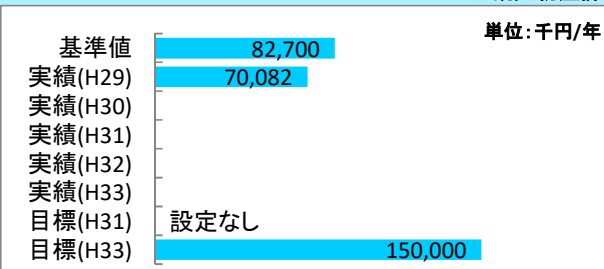
【商談会及びPR】

- ・関東島原半島会
- ・旬八青果店(㈱アグリゲート)
- ・日本橋長崎館
- ・ハッピーロード大山商店街
- ・刈谷ハイウェイオアシス
- ・京北スーパー

など

直売所の売上額

観光物産課



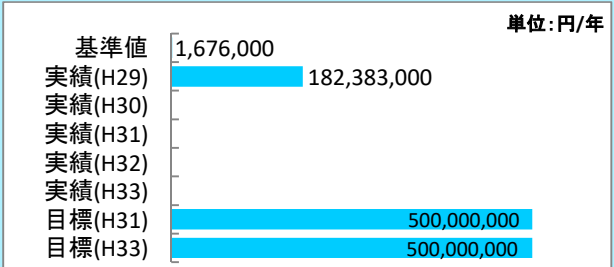
◎説明

○吾妻ふるさとふれあい館・・・38,845千円

○千々石農産物直売所・・・31,236千円

ふるさと応援寄附額

政策企画課



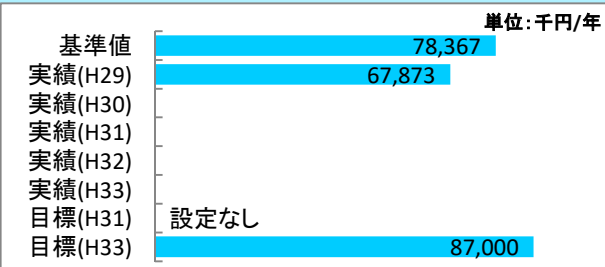
◎説明

ポータルサイトを増設することで寄附額及び件数が増加した。

政策 2-5 商工業・企業誘致・新産業

商工業の振興や企業誘致、新産業の育成により、雇用の場を創出し、地域経済の活性化を図ります。

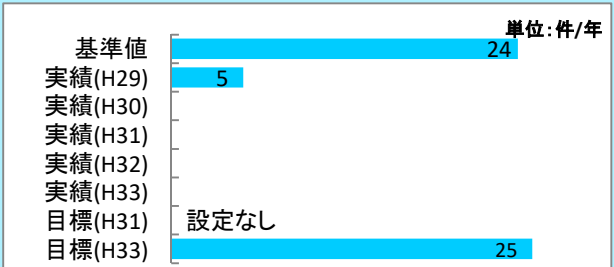
中小企業振興資金・設備資金助成事業における融資実行額
商工労政課



◎説明

中小企業振興資金における融資実行額
2,373千円(1件)
設備資金助成事業における融資実行額
65,500千円(4件)

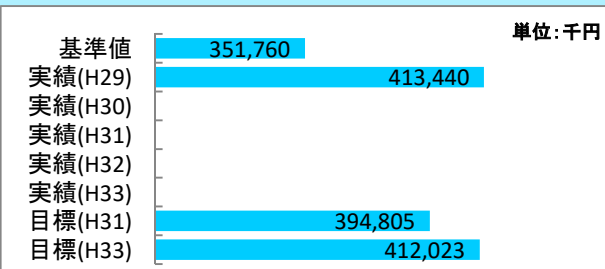
中小企業振興資金・設備資金助成事業における融資実行件数
商工労政課



◎説明

中小企業振興資金における融資実行額
2,373千円(1件)
設備資金助成事業における融資実行額
65,500千円(4件)

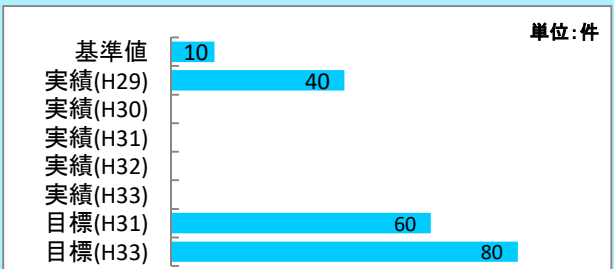
製造事業所平均年間製造品出荷額
商工労政課



◎説明

H29工業統計より(H28年実績値)
製造品出荷額2,811,391万円÷事業所数68件
≒413,440千円

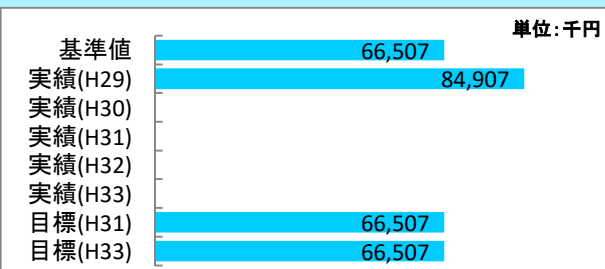
新規出店数(起業・創業により商工会に加入した事業所数)(H26以降の累計)
商工労政課



◎説明

新規出店数(起業・創業により商工会に加入した事業所数)(H26以降の累計) 40件(H26~H28 25件、H29 15件)

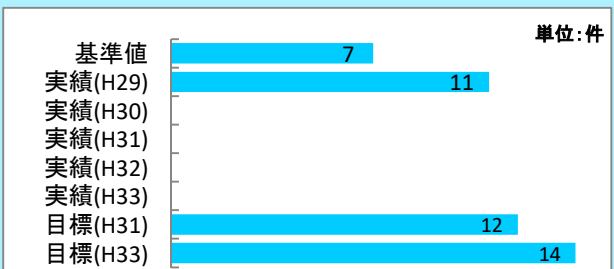
卸売・小売事業所平均年間販売額
商工労政課



◎説明

H28経済センサス活動調査より
年間商品販売額 41,774百万円÷事業所数492件
≒84,907千円

企業誘致件数(H26以降の累計)
商工労政課

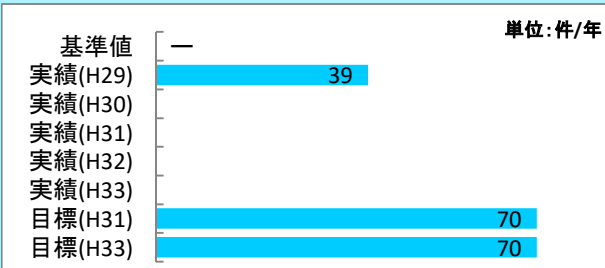


◎説明

企業誘致件数(H26以降の累計) 11件

創業支援相談件数

商工労政課

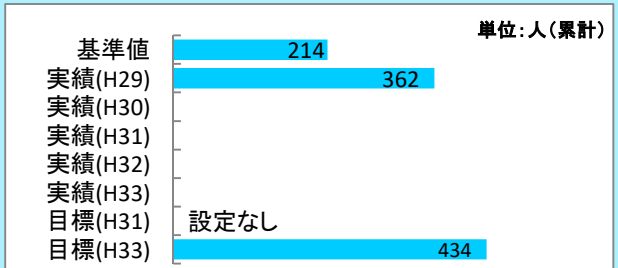


◎説明

創業支援事業計画に基づく創業支援事業による支援実績 39件

誘致企業雇用者数

商工労政課

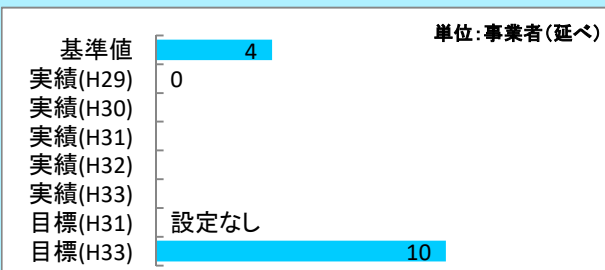


◎説明

平成29年度末 誘致企業雇用実数(商工労政課調べ) 362人

6次産業化法に基づく認定事業者数

農林水産課

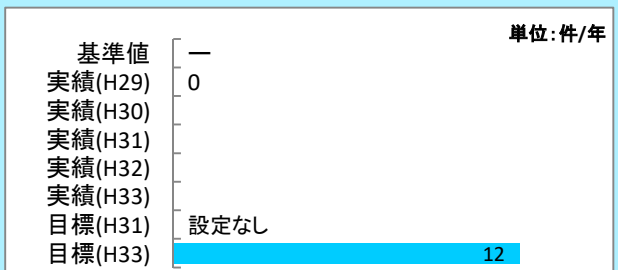


◎説明

29年度実績なし

消費者と生産者との意見交換会の開催

農林水産課

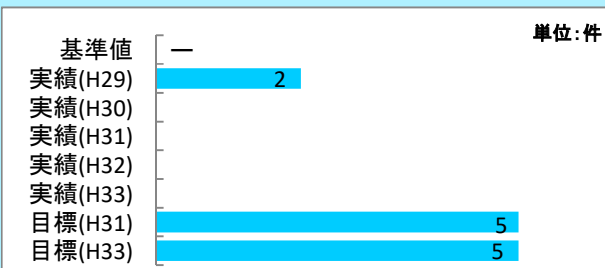


◎説明

29年度実績なし

ワーク・ライフ・バランスや処遇改善に取り組んでいる企業数

商工労政課

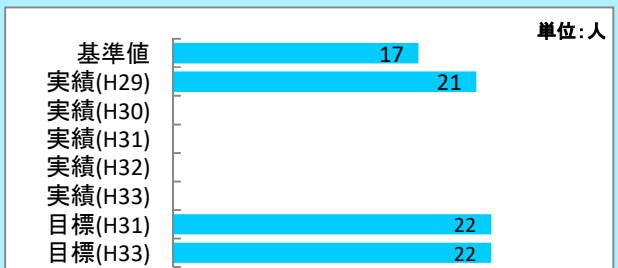


◎説明

魅力ある職場づくり支援事業によるワークライフバランスや処遇改善に取り組んでいる企業数 H29 2社

市内高校に通う生徒の市内企業への就職数

商工労政課

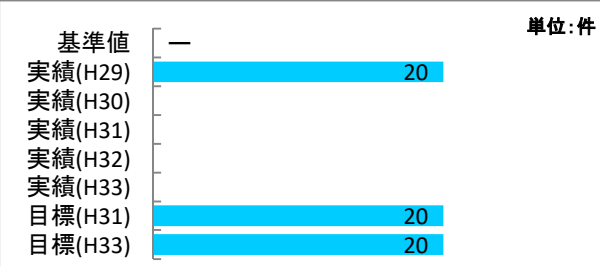


◎説明

雲仙市内高校の進学就職状況に関する調査結果 21名 (平成30年3月卒業)

職場環境改善、研修実施企業数

商工労政課



◎説明

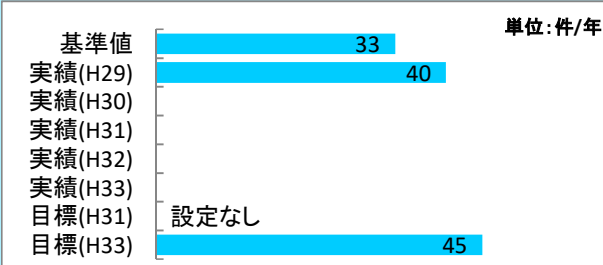
魅力ある職場づくり支援事業による職場環境改善、研修実施企業数 H29
20社

政策 2-6 観光・交流

自然環境や歴史文化など地域資源を活用した観光振興により、交流人口を拡大させ、地域経済の活性化を図ります。

体験型観光プログラム数

観光物産課



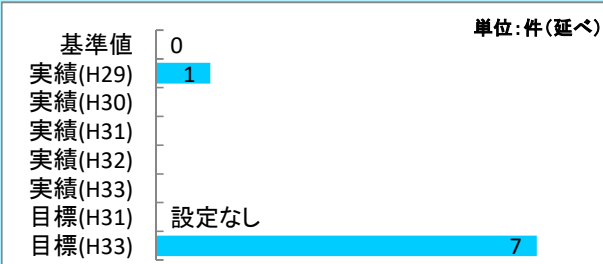
◎説明

島原半島観光連盟の体験プログラムの中で、雲仙市で実施可能なプログラム

・ハウスいちご狩り・温州ミカン狩り・カーネーション花摘み・茶葉を摘んで天ぷらで食べる・サツマイモ収穫と焼き芋づくり・農家ふれあい体験・雲仙の自然植物ガイドツアー・雲仙の歴史ガイドツアー・法話と座禅体験・海のイカダで魚釣り炭焼き・イカの夜釣り体験・島原藩伝統の和ろうそく作り・和ろうそくに絵付け体験・山のカズラで編んで籠作り・野山の素材でクリスマスリース作り・季節の花でフラワーアレンジ・インテリアに「苔玉」作り・イチヨウの木でMy箸作り・奥雲仙「寿妙院」で念珠作り・草木染め体験・間伐材を利用した木エコ体験・雲仙湯せんべい手焼き体験・国産黒ゴマ豆腐作り・奥雲仙田舎まんじゅう作り・郷土料理「六兵衛」作り・郷土料理「いぎりす」作り・季節の果物でジャム作り・雲仙こぶ高菜料理作り・特産じゃがダゴ汁作り・ゆずの加工体験・精進料理作り・郷土料理作り・雲仙三岳周遊トレッキング・九千部岳トレッキング・九千部岳トレッキングと田舎料理満喫・普賢岳トレッキング・温泉断層を巡る・いちご 桃 梨のジャム作り・語り部に聞く雲仙普賢岳噴火・アロマでリフレッシュ

ホテル・旅館の大規模建築物の耐震化件数

建築課

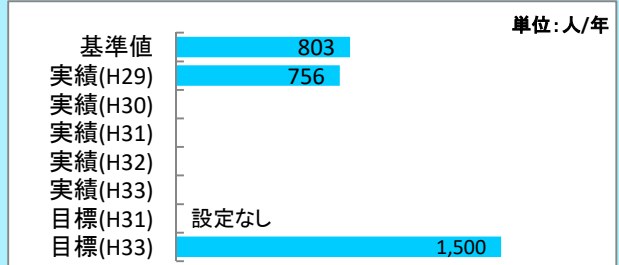


◎説明

九州ホテル建替え工事完了

体験型観光の参加者数

観光物産課

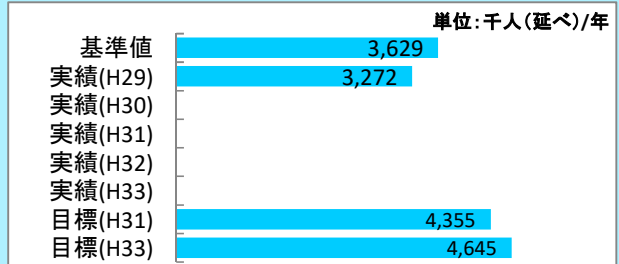


◎説明

H29の実績・・・756名
島原半島観光連盟調

観光客延数

観光物産課

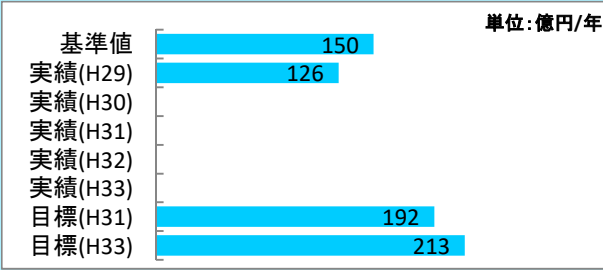


◎説明

前年からの減少の主な要因として、ねんりんピックや自衛隊入港セレモニーなど、平成29年には実施されなかったイベントの影響や大型宿泊施設の休館、平成28年尾「九州ふっこう割」の反動によるものなどが考えられる。

宿泊者の観光消費額

観光物産課

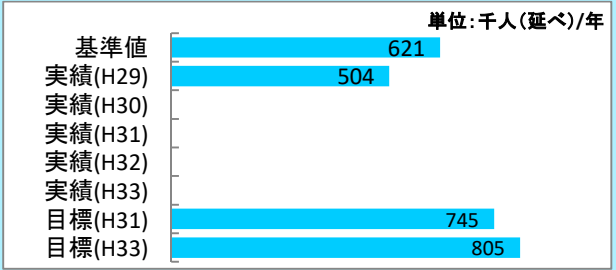


◎説明

宿泊客の消費額単価: 12,899円
 宿泊客延滞在数: 979,146人
 $12,899 \times 979,146 = 12,630,004,254$ 円

延宿泊者数

観光物産課

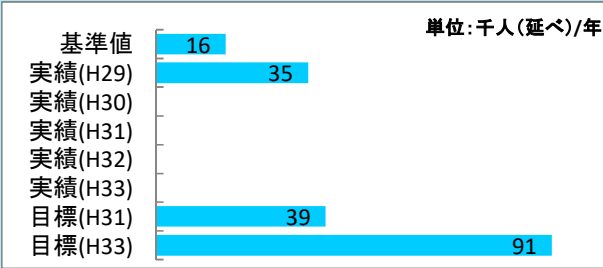


◎説明

大型宿泊施設の休館や平成28年の「ねんりんピック」「九州ふっこう割」による反動減。

外国人延宿泊者数

観光物産課

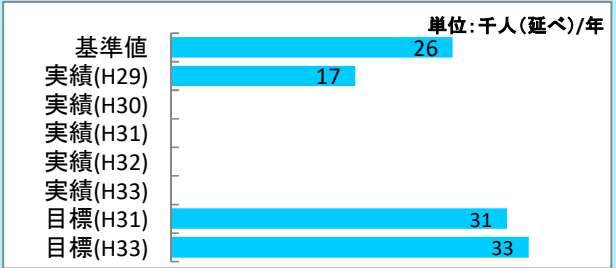


◎説明

前年からの減少の主な要因として、大型宿泊施設の休館や中国・台湾・香港などからの団体旅行の減少によるものが考えられる。

修学旅行延宿泊者数

観光物産課

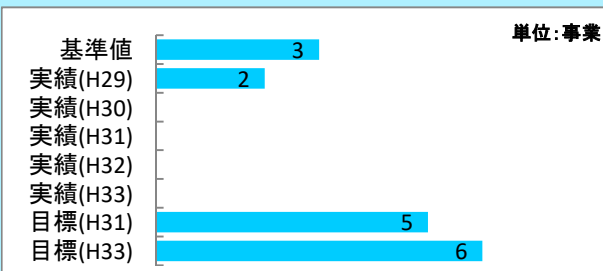


◎説明

平成28年は熊本地震の影響により大きく減少したが、平成29年は観光協会や各宿泊施設の積極的な営業活動により回復の兆しが見られ、前年比17%増となった。

大学・専門学校(学生)等との連携事業数(年間)

政策企画課

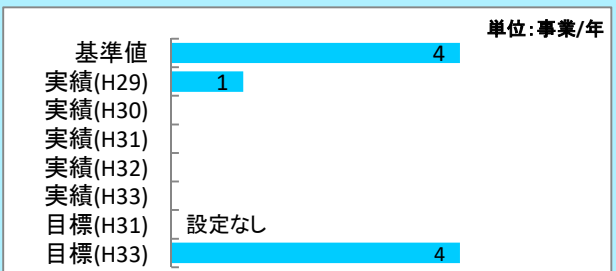


◎説明

- ・雲仙市における持続可能な食と農のあり方を学ぶフィールドリサーチ (日本大学、観光物産課)
- ・神代小路地区旧永松家住宅修繕にかかる調査及び審議会での協議 (長崎総合科学大学、生涯学習課)

姉妹都市等による国内・国外交流事業数

生涯学習課



◎説明

天正遣欧少年使節ゆかりの地首長会議海外派遣事業

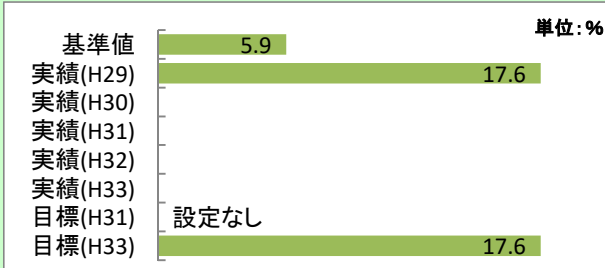
基本方針3 社会基盤と環境

政策3-1 道路・公共交通

広域的な道路ネットワークの構築と公共交通機関の維持・活性化を図ります。

地域高規格道路「島原道路」整備率(雲仙市内)

監理課

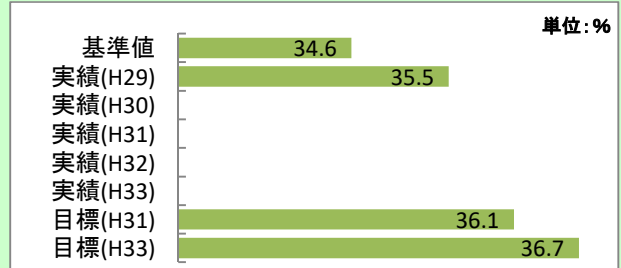


◎説明

3km/17km=17.6%
愛野森山BPの雲仙市分1km+吾妻愛野BP2km

市道の改良率

監理課・道路河川課



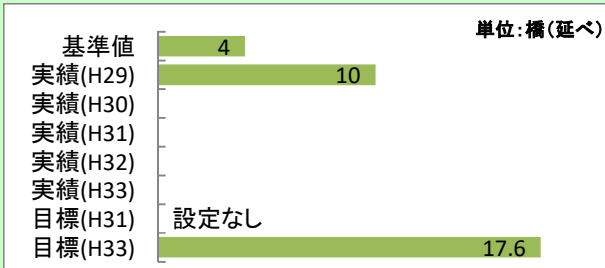
◎説明

改良率=改良済延長/実延長
383,135.5/1,079,500.7=35.5%

※市道において、計画的に改良・舗装事業を実施した。

橋梁補修

道路河川課

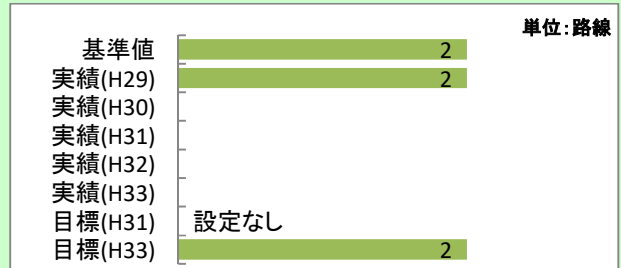


◎説明

平成28年度まで補修完了 8橋
平成29年度補修完了 2橋
合計 10橋

乗合タクシー運行路線数

政策企画課



◎説明

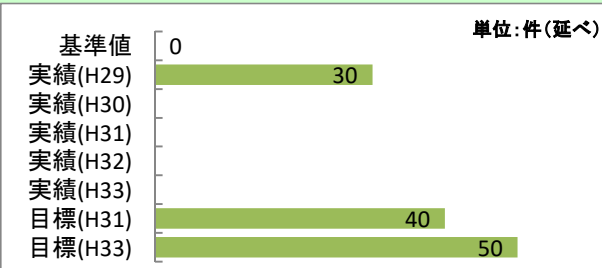
生活交道路線の確保のため、2路線の維持に努めた。

政策 3-2 社会基盤

豊かな暮らしを支える社会基盤を計画的に整備します。

危険空家の除却費用助成件数

建築課

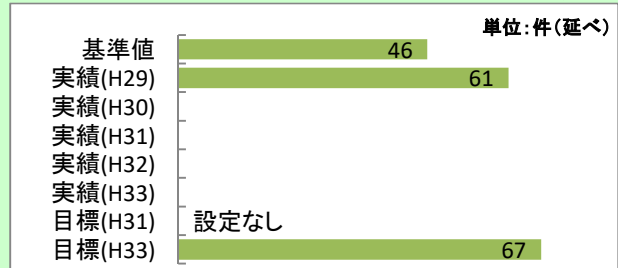


◎説明

危険空家の除却費用予定助成件数
H28年度: 17件
H29年度: 13件

木造住宅耐震診断費助成件数

建築課

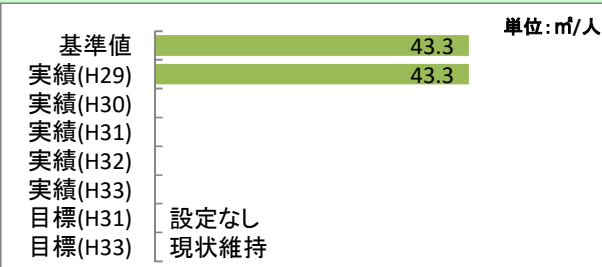


◎説明

木造住宅耐震診断費予定助成件数
H26年度まで: 46件、H27年度: 3件、
H28年度: 8件、H29年度: 4件

公園等整備量(H22)(一人当たり面積)

監理課・財産管理課

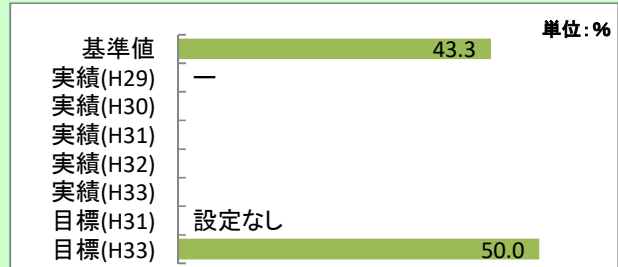


◎説明

雲仙市都市公園条例で一人あたり10㎡以上と定められており、その基準を充たしているため、現状維持。

公園の充実度(H24)

監理課

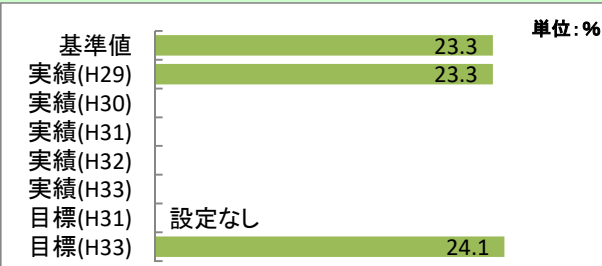


◎説明

調査未実施

急傾斜地崩壊対策施設整備率

道路河川課



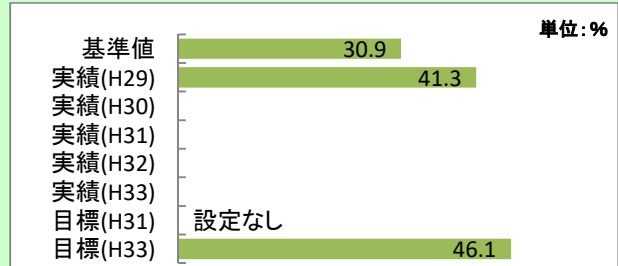
◎説明

(根拠) ※1 ※2
H28年度 32箇所/137箇所×100=23.3%

※1 崩壊対策施設整備済地区数
※2 崩壊危険箇所数

漁港海岸保全施設整備率

農漁村整備課

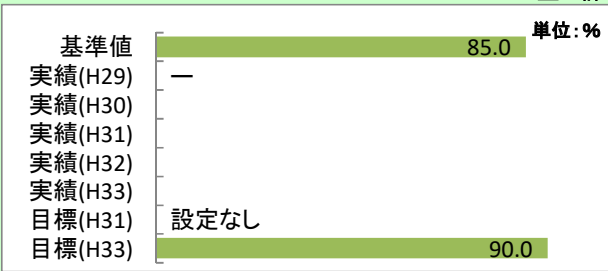


◎説明

H29年度までの実績
木指漁港海岸 1,156m
赤間漁港海岸 70m
整備延長 1,226m
・整備延長: 1,226m / 計画延長: 2,966m × 100
= 整備率: 41.3%

自慢できる景観がある割合

監理課



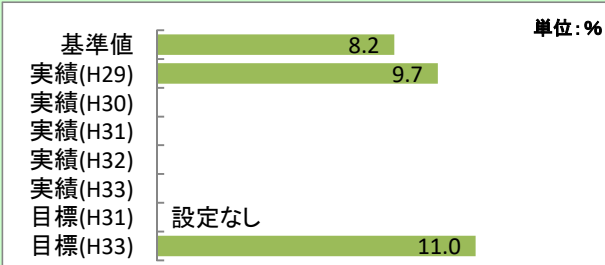
◎説明
調査未実施

政策 3-3 上下水道

上下水道施設の適正な維持管理と水洗化の普及を図ります。

水道施設の耐震化率(H26以降の累計)

水道課

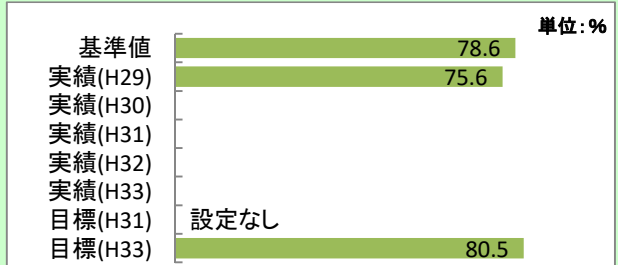


◎説明

(H29耐震化布設延長+H28までの耐震化布設延長)÷総延長=耐震化率
 $(3.95\text{km}+51.3\text{km})\div 568.7\text{km}=9.7\%$

水道有収率(有収水量/給水量)

水道課

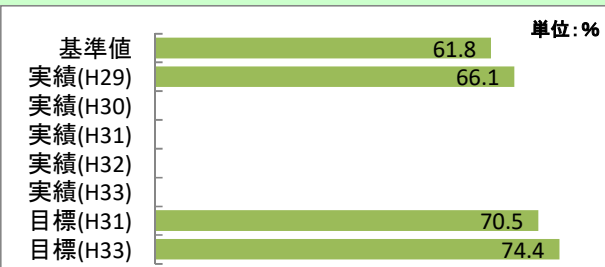


◎説明

H28 $4,479,490\text{m}^3$ (総有収量)÷ $5,923,776\text{m}^3$ (総配水量)×100=75.6%
 ※有収率については、漏水調査による漏水の早期発見が出来ず、漏水修理までに時間を要したため計画目標が達成出来なかった。

水洗化率(下水道)

下水道課

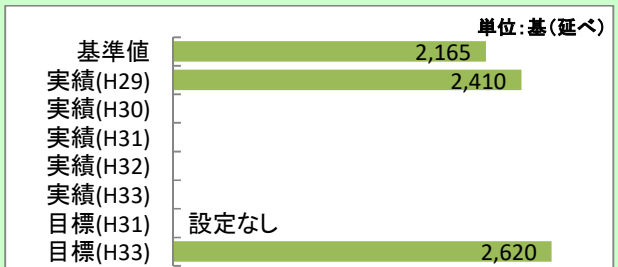


◎説明

水洗化率=接続人口/処理区内人口×100
 $=13,220\text{人}/20,013\text{人}\times 100$
 $=66.1\%$

合併処理浄化槽設置基数

環境政策課



◎説明

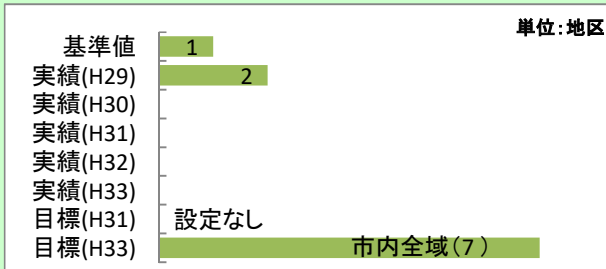
国見:1,329 瑞穂:129 吾妻:157 愛野:110
 千々石:53 小浜:354 南串山:278

政策3-4 情報化・先端技術

ICTやロボット技術など先端技術を活用したまちづくりを進めます。

光ブロードバンドサービス開始地区数

政策企画課

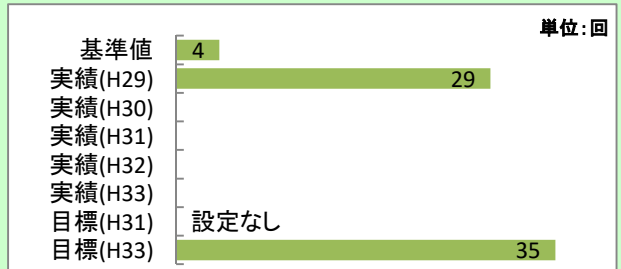


◎説明

平成33年度までに市内全域での光ブロードバンドサービスの提供を目標に計画検討を行った。

メディア安全講習会開催数

政策企画課・生涯学習課

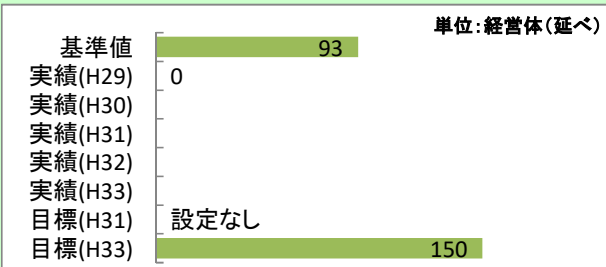


◎説明

市内・小中学校児童・生徒・保護者・教職員を対象にメディア安全教室を実施した。

省力技術を新たに導入した経営体数(農業)

農林水産課



◎説明

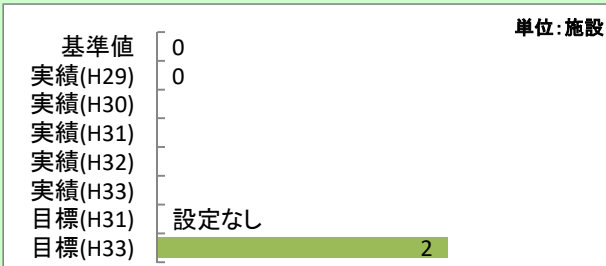
29年度実績なし

政策3-5 環境にやさしいまちづくり

豊かな自然環境を守りながら、再生可能エネルギーの活用を進めます。
また、ごみが少ない、衛生的で安心して暮らせる生活環境をつくります。

木質等バイオマス発電・熱利用施設(半島内)

環境政策課

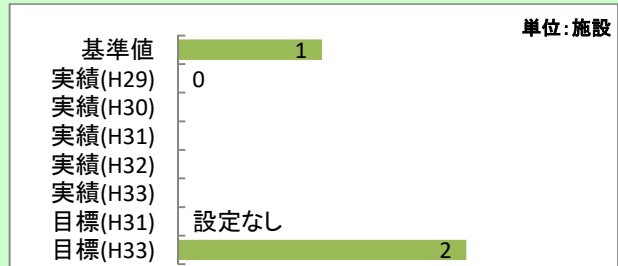


◎説明

雲仙市環境センターへのバイオマス発電機設置に向け関係事業者と協議中。
平成30年度においてFIT申請予定。

地熱発電施設(温泉水)

環境政策課

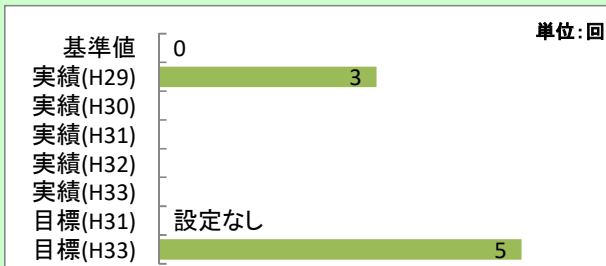


◎説明

市の実証用発電機について、温泉成分による基盤の損傷が激しいため、Eキャンレッジ交流センターへ展示用として移設。
今後の事業展開については、民間事業へ協力する形での継続を検討。

環境学習開催回数

環境政策課

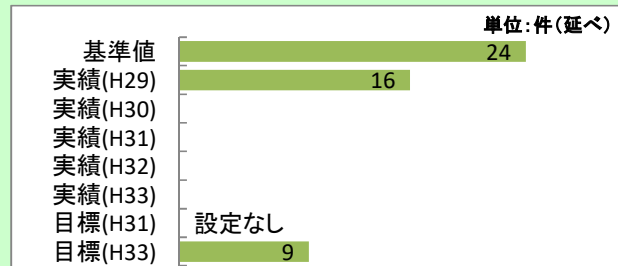


◎説明

平成29年6月29日
千々石町第一小学校 千々石海岸清掃事前学習
平成29年6月30日
千々石町第一、第二小学校 千々石海岸清掃
平成30年2月21日
千々石第一小学校 社会科研究授業

不法投棄回収指導件数

環境政策課

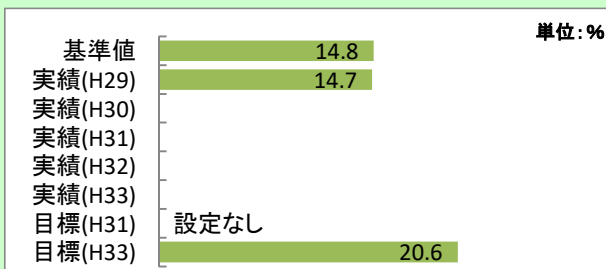


◎説明

市有地に不法投棄された廃棄物の回収及び個人所有地に不法投棄を行った人物に対する指導実施回数

ごみの再資源化率

環境政策課

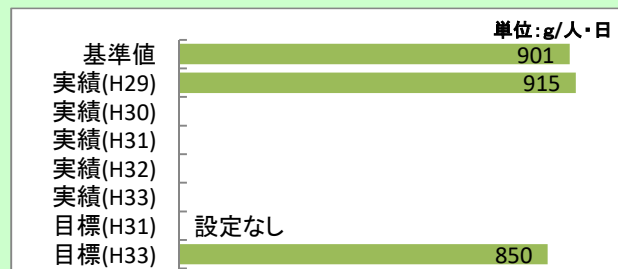


◎説明

総資源化量÷ごみ排出量
2.191t÷14.931t×100≒14.7%

1人1日あたりのごみ排出量

環境政策課

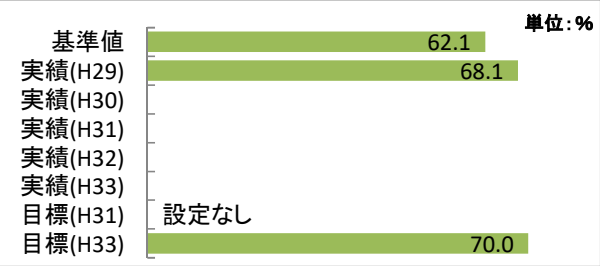


◎説明

ごみ排出量÷総人口÷365日
14.931t=14,931,000,000g÷44,688人÷365日
≒915

狂犬病予防注射接種率

環境政策課



◎説明

H29年度の犬の登録件数(2131頭)の内、予防接種頭数(1451頭)
 $(1451[\text{頭}] \div 2131[\text{頭}] \times 100 = 68.1\%)$

基本方針4 人財と郷土

政策4-1 学校教育

自ら学ぶ力と豊かな心を育む学校教育を推進します。

全国学力調査との比較(小)

学校教育課

	単位: %
基準値	全国比 -1.8 ~ -0.5
実績(H29)	全国比 -4.6 ~ +1.7
実績(H30)	
実績(H31)	
実績(H32)	
実績(H33)	
目標(H31)	全国平均
目標(H33)	全国平均以上

◎説明

算数における基礎的な知識を問うA問題では、全国平均を上回った。しかしながら、根拠を明記しながら文章で回答したり自分なりの意見を記述するなどの活用に関するB問題に課題がある。

全国学力調査との比較(中)

学校教育課

	単位: %
基準値	県比 -5.4 ~ -4.0
実績(H29)	県比 -2.8 ~ +0.5
実績(H30)	
実績(H31)	
実績(H32)	
実績(H33)	
目標(H31)	県平均
目標(H33)	県平均以上

◎説明

数学における基礎的な知識を問うA問題では、県及び全国平均を上回るなど、少しずつ県や全国との差が縮まってきた。しかしながら、根拠を明記しながら文章で回答したり自分なりの意見を記述するなどの活用に関するB問題に課題がある。

小学校間交流学習実施率

学校教育課

	単位: %
基準値	75.0
実績(H29)	95.0
実績(H30)	
実績(H31)	
実績(H32)	
実績(H33)	
目標(H31)	設定なし
目標(H33)	100.0

◎説明

小学校19校中、18校において実施(残り1校については、旧町1校の学校であり児童数も多いためその必要性は低い)。宿泊体験学習や修学旅行、教科学習等を実施し、同一中学校区内の他校児童との交流を深めるとともに、参加費等の保護者負担が軽減された。

九州大会出場種目数(中学生)

学校教育課

	単位: 種目/年
基準値	6
実績(H29)	8
実績(H30)	
実績(H31)	
実績(H32)	
実績(H33)	
目標(H31)	8
目標(H33)	10

◎説明

団体・・・2種目 バレーボール男子(南串中)、卓球女子(愛野中)
個人・・・6種目 陸上[女子100mハードル・女子走高跳・男子棒高跳・男子砲丸投](国見中)、柔道[女子70kg級・女子70kg超級](南串中・愛野中)

不登校児童生徒数

学校教育課

	単位: 人/年
基準値	14
実績(H29)	29
実績(H30)	
実績(H31)	
実績(H32)	
実績(H33)	
目標(H31)	設定なし
目標(H33)	5以下

◎説明

不登校児童生徒数は、文部科学省が示した「病気等以外で年間連続又は断続して30日以上欠席した者」を計上。
H29在籍児童生徒総数3,347名のうち、不登校児童生徒29人(0.9%)。小学校1人(0.04%)、中学校28人(2.5%)。90日以上欠席者は18人、30日以上90日未満の欠席者は11人。このうち9人が登校できるようになるとともに、17人に好ましい変化が見られた。

校舎と体育館の外壁の耐震化率

総務課

	単位: %
基準値	26.0
実績(H29)	31.0
実績(H30)	
実績(H31)	
実績(H32)	
実績(H33)	
目標(H31)	設定なし
目標(H33)	50.0以上

◎説明

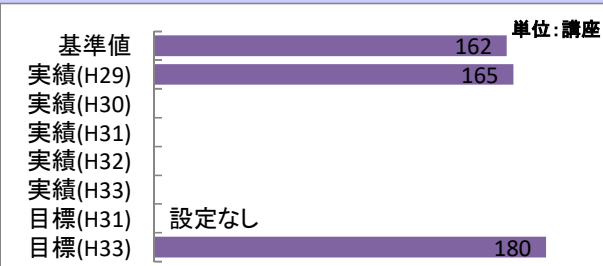
改修済み: 校舎11+体育館6=17箇所
箇所数: 27校×2(校舎+体育館)=54箇所
17/54箇所=31.48≒31%

政策4-2 生涯学習

生涯にわたって、学べる環境をつくります。

講座、講演会等の開催数

生涯学習課

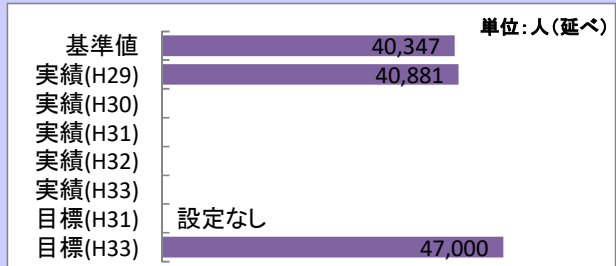


◎説明

一般向け63件・幼児親子向け15件・子ども向け65件
高齢者19件・男女共同参画3件 計165件

図書館利用者数

生涯学習課

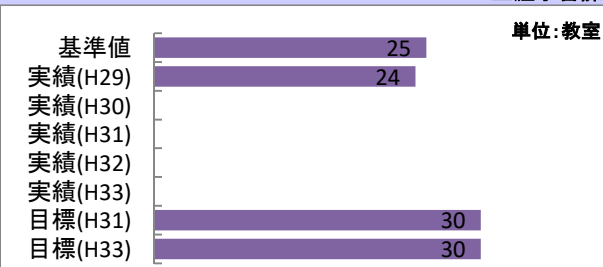


◎説明

H29年度実績(図書館要覧抜粋)
雲仙市図書館14,115人・各町図書室計21,355人
移動図書5,411人 計40,881人

土曜学習推進事業

生涯学習課

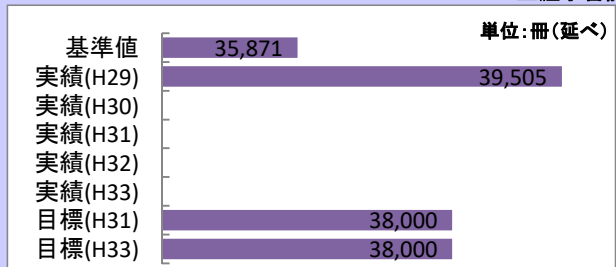


◎説明

国見7教室、瑞穂1教室、吾妻3教室、愛野6教室、千々石3教室、小浜1教室、南串山3教室 計24教室

移動図書館事業(貸出冊数)

生涯学習課

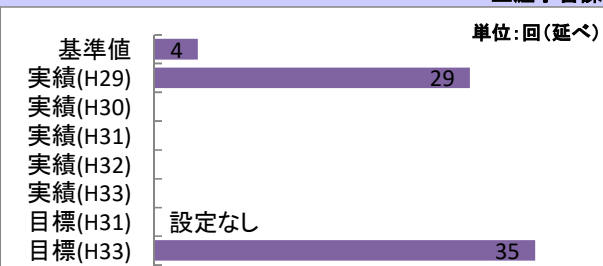


◎説明

H29年度実績(図書館要覧抜粋)

メディアの安全指導に関する講演会等

生涯学習課

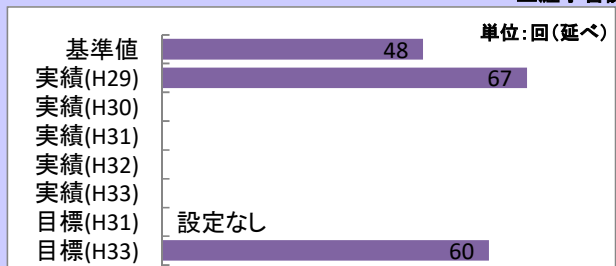


◎説明

市内・小中学校児童・生徒・保護者・教職員を対象にメディア安全教室を実施した。

ブックスタート事業

生涯学習課



◎説明

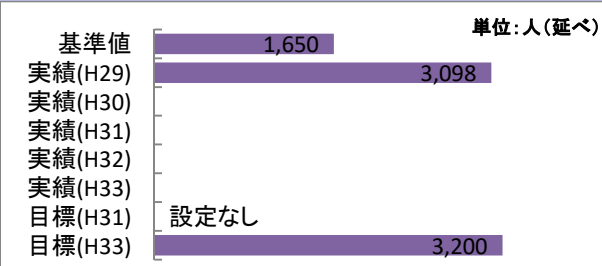
ブックスタート(4箇所×12月=48回)
フォローアップ(小浜月1回×12月=12回)
フォローアップ(図書館月1回9月から 7回)

政策4-3 生涯スポーツ

スポーツに親しむことができる環境をつくります。

スポーツ教室・スポーツ大会参加者数

スポーツ振興課



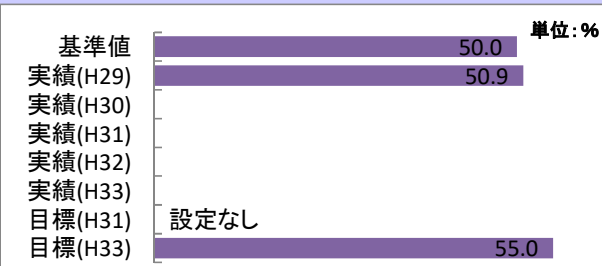
◎説明

気軽にスポーツ活動を楽しめることができるよう、ラジオ体操会やレクリエーション&スポーツフェスタの開催、陸上教室や水泳教室のほか、体力年齢測定会、ウォーキング大会を実施した。また、成長期における障害予防等の知識習得と実践のための講習会など開催し、全参加者数については昨年を下回ったものの、市民のニーズは高く、運動・スポーツ活動の機会のきっかけとなり参加者増に繋がっている。

- ・雲仙アヅマクロス教室・大会(1,697人)
- ・体力年齢測定会(35人)
- ・スポーツ医科学・基礎講座(595人)
- ・水泳教室(351人)
- ・陸上教室(167人)
- ・ウォーキング大会(144人)
- ・スポーツ&レクリエーション祭(109人)

小学生クラブ活動振興会で活動する子どもたち(5、6年生)の割合

スポーツ振興課

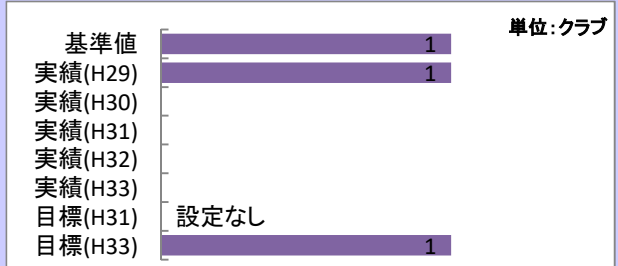


◎説明

適切な休養日や練習時間の遵守等、健全なクラブ活動ができるよう指導助言を行なっている。クラブ単位の子どもたちの活動人数は増加傾向にはないが、クラブの維持継続に努められている。(全体数819人中 5年生213人、6年生204人)

総合型地域スポーツクラブ数

スポーツ振興課

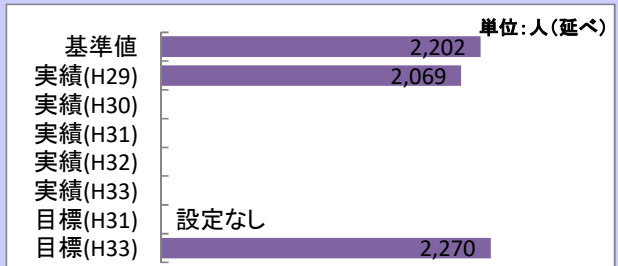


◎説明

実績1クラブを維持し、市民が身近な地域で、生涯にわたりスポーツに親しめる環境を支援しており、自主的な活動を継続している。

雲仙市民スポーツ大会出場競技者数

スポーツ振興課

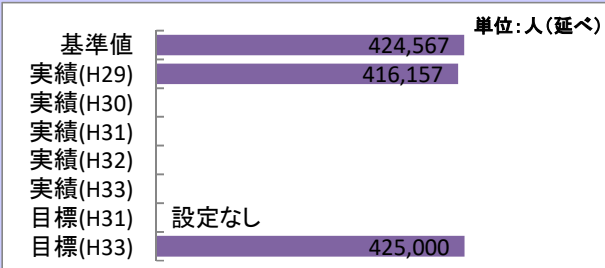


◎説明

雲仙市体育協会の協力のもと、競技人口の拡大、育成に取り組んだが、参加者数については、各競技会の加入人数の減などもあり、昨年度ほぼ同数で目標には達しなかった。

スポーツ施設の利用者数

スポーツ振興課・商工労政課



◎説明

【スポーツ振興課】

前年度とほぼ同数で、施設利用者は増加傾向で推移している。余暇時間の増大や健康意識の高まりなど、スポーツレクリエーション活動を気軽に楽しむ場を求められている。

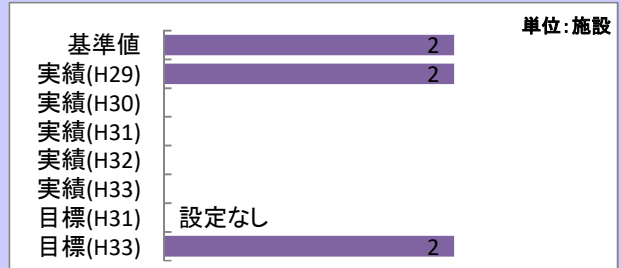
学校開放施設の利用や、グラウンドゴルフ、テニスの利用者が増となり、各種スポーツ大会開催などが主な要因となっている。

【商工労政課】

リフレッシュセンターおばま
H29 39,761人

指定管理者制度の導入施設数

スポーツ振興課・商工労政課



◎説明

【スポーツ振興課】

施設快適に活用し高度なサービスが提供できるよう、民間企業のノウハウ等を導入できる指定管理者制度を活用し、V・ファーレン長崎スポーツコミュニティによる施設運営により維持している。

【商工労政課】

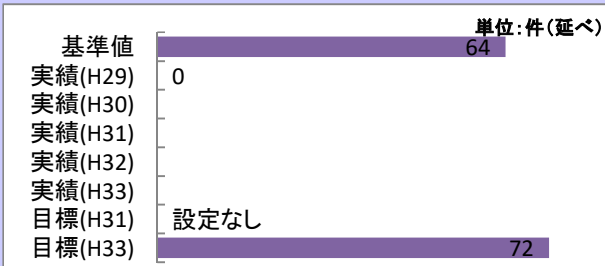
リフレッシュセンターおばま

政策 4-4 歴史・文化・芸術

歴史を守りながら、芸術・文化の香りが漂うまちづくりを進めます。

文化財の指定数

生涯学習課

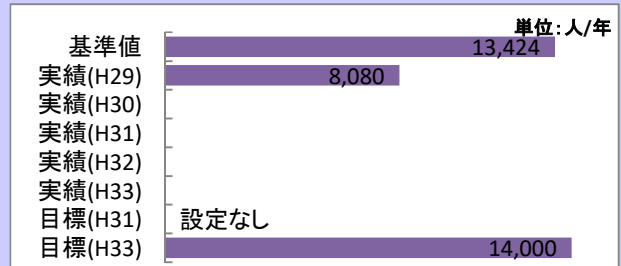


◎説明

・指定文化財の再調査を実施するとともに、文化財指定の準備を進めてきたが、指定にあたって精査を行なう必要があり29年度の指定には至らなかった。

鍋島邸入場者数

生涯学習課

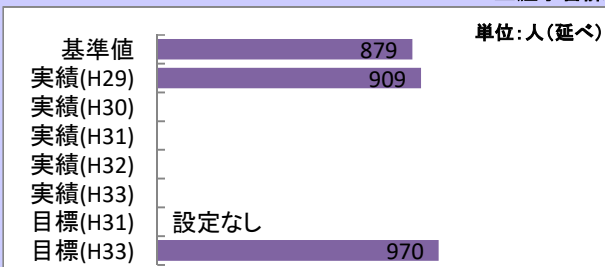


◎説明

・入場者の利便性を考慮し、庭園園路の土系舗装事業を行った。
 ・30年2月～3月に、地元の実行委員会と協力し「緋寒桜の郷まつり」を開催した。(期間中入場者2,446名)
 ・緋寒桜の開花時期とまつりの期間がずれてしまい、例年より入場者が少なかった。(28年度入場者4,330名)

市民音楽祭や美術展への来場者数

生涯学習課

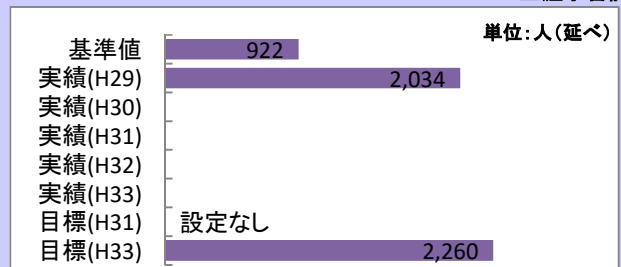


◎説明

・第11回市民音楽祭 H29.11.19ハマユリックスホール
 来場者数500人
 ・第12回市展 H30.2.9～12
 吾妻町ふるさと会館 来場者数409人

文化会館自主文化事業振興会主催による事業(コンサート等)への来場者数

生涯学習課



◎説明

市内3ホールを活用し、落語会やロビーコンサート、乳幼児も鑑賞できる親子コンサート等を行ったほか、ハマユリックスホール開館20周年記念としてラジオ公開収録と新喜劇公演を行なった。また、普段文化会館に足を運ぶ機会の少ない高齢者、未就学児の施設にて出前コンサートを開催し芸術文化鑑賞機会の拡充を図った。

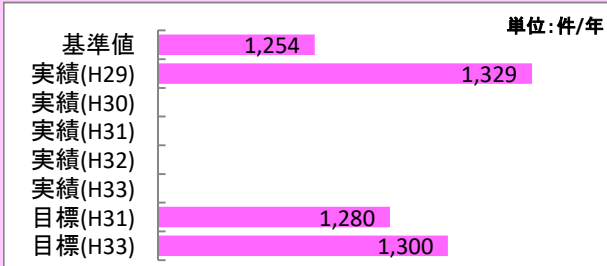
基本方針5 協働と戦略

政策5-1 協働のまちづくり

男女が平等で一人ひとりの人権が守られる社会を目指します。
また、市民主体の協働型のまちづくりを進めます。

自治会活動活性化交付金活動割対象事業数

地域づくり推進課

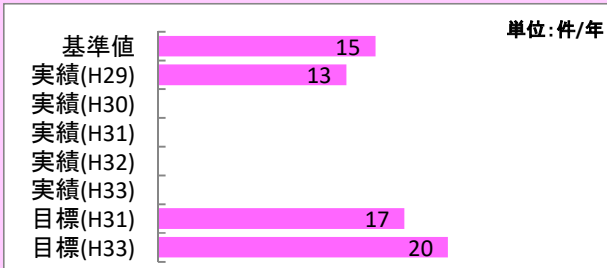


◎説明

国見町 253件
瑞穂町 87件
吾妻町 176件
愛野町 129件
千々石町 297件
小浜町 305件
南串山町 82件

地域づくり事業活動数

地域づくり推進課

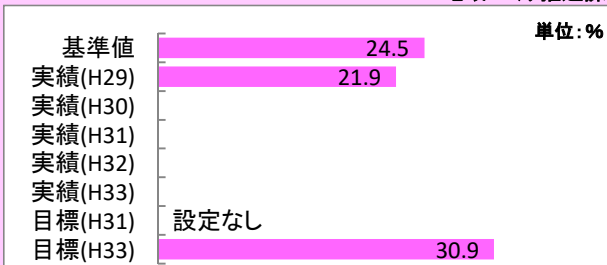


◎説明

国見町 2件
瑞穂町 2件
吾妻町 1件
愛野町 1件
千々石町 1件
小浜町 4件
南串山町 2件
計13件

市審議会等における女性委員登用率

地域づくり推進課

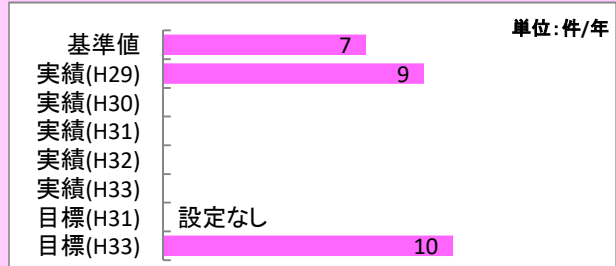


◎説明

総委員数 393人
うち女性委員数 86人
86人(女性委員)/393人(総委員)=21.9%

自治集会所等整備事業実施件数

地域づくり推進課

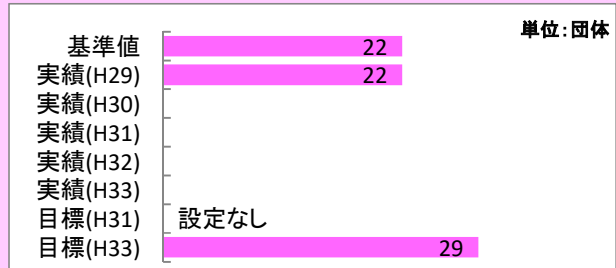


◎説明

国見町 4件(整備集会所数6件)
瑞穂町 2件
吾妻町 1件
愛野町 1件
千々石町 1件 計9件(整備集会所数11件)

まちづくり団体数

地域づくり推進課



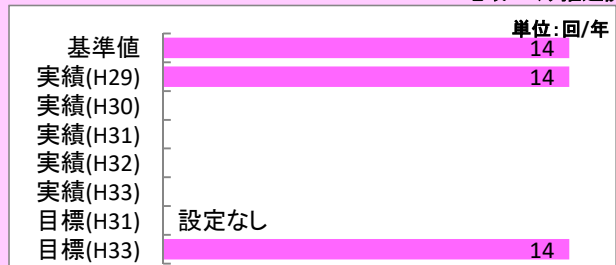
◎説明

市内NPO法人団体10団体
地域づくり補助金申請団体12団体

計22団体

人権相談所開設数

地域づくり推進課

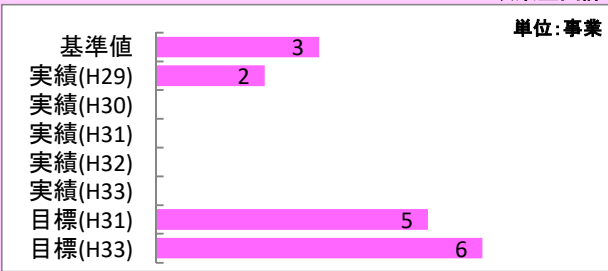


◎説明

よろず相談 毎月1回 12回
特設相談(人権相談の日6月、人権週間12月) 2回

【再掲】大学・専門学校(学生)等との連携事業数(年間)

政策企画課



◎説明

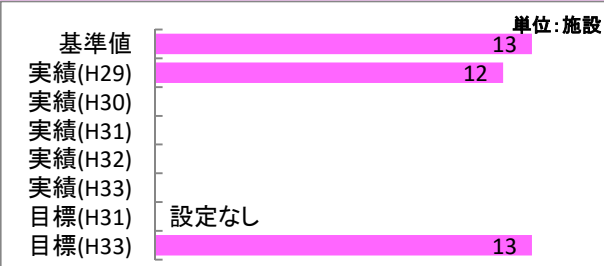
- ・雲仙市における持続可能な食と農のあり方を学ぶフィールドリサーチ
(日本大学、観光物産課)
- ・神代小路地区旧永松家住宅修繕にかかる調査及び審議会での協議
(長崎総合科学大学、生涯学習課)

政策5-2 行政運営

効率的で質の高い行政運営を行います。

指定管理者制度の導入施設数

人事課



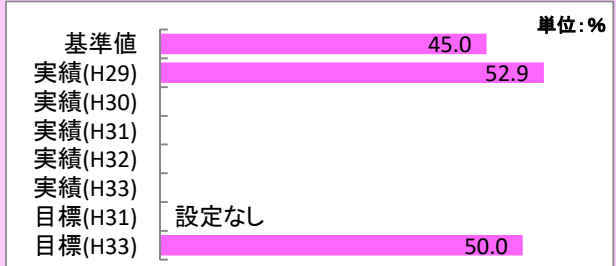
◎説明

H29年度指定管理者制度導入施設数 12施設

※前年度指定管理者制度導入施設数から増減はなく、前年度同数である。

雲仙市に住み続けたい市民の割合(20代)

政策企画課

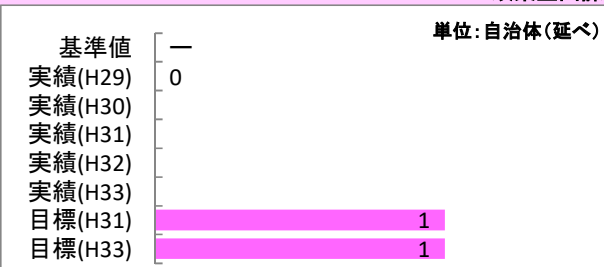


◎説明

男女共同参画社会等に関する市民アンケート(H29.6実施)の「その他の設問」にて調査

定住自立圏形成数(H26以降の累計)

政策企画課

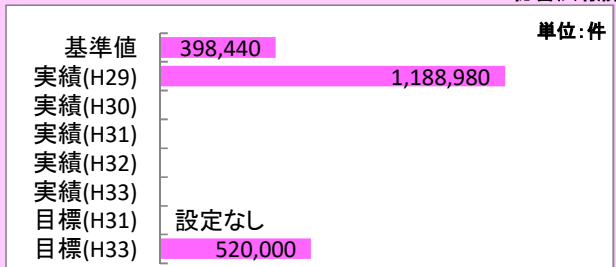


◎説明

引き続き、形成の可能性について、調査、研究を行う。

市ホームページアクセス数

秘書広報課

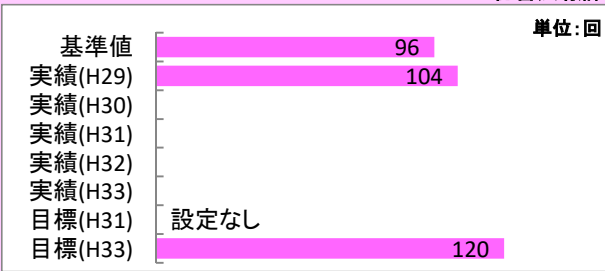


◎説明

・広報紙やパンフレット等へQRコード掲載を推進し、ホームページの利用促進を図った。
 ・広報委員会において、更新作業の重要性の周知とスマートフォンからの利用促進を図った。
 ※H29.5.24長崎県セキュリティクラウド移行に伴い、市職員のアクセス数も含まれるようになった。
 ・情報更新件数 1,308件

出前講座等開催数

秘書広報課

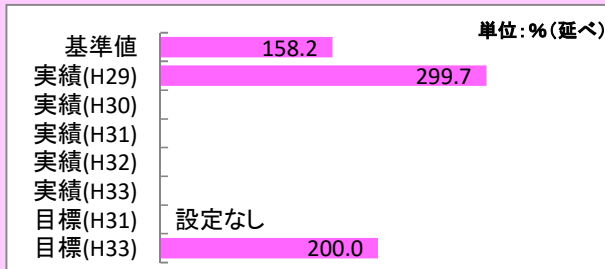


◎説明

- ・広聴活動は各課において実施。
- ・9講座を104回開催
 - 自主防災組織出前講座:12回 505人
 - 租税教室事業:9回 311人
 - 福祉介護出前講座:10回 183人
 - ゴミの分け方・出し方説明会:10回 134人
 - 農業出前講座:1回 15人
 - 未来の担い手事業:2回 110人
 - 軽スポーツ出前講座:6回 480人
 - 健康ミニ講座:14回 296人
 - 消費生活出前講座:40回 463人
- ・参加人数:延べ2,497人

市職員研修参加率(一般職)

人事課



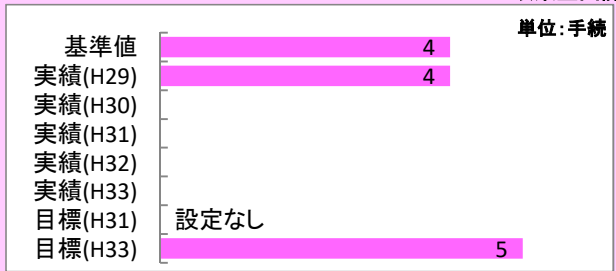
◎説明

H29年度:1,142人/381人×100=299.7%

階層別:55人 専門:101人 自主研修:16人 JIAM:3人 アカデミー:4人
 長崎県建設技術研究センター:1人
 職場研修:962人

行政手続等のオンライン利用可能件数

政策企画課



◎説明

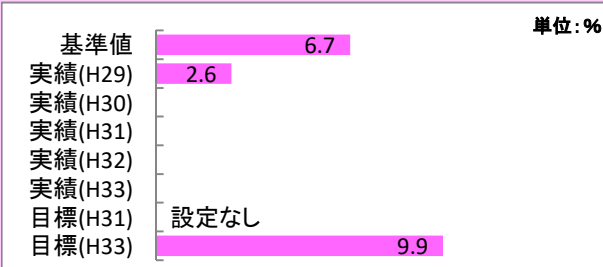
目標のあと1つの業務について、調査・研究を行った。

政策5-3 財政運営

自主財源の確保に努めつつ、持続可能な財政運営に努めます。

実質公債費比率

財政課



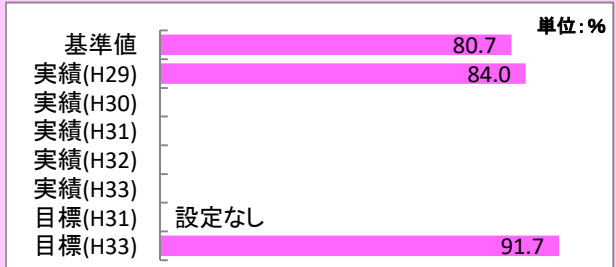
◎説明

公債費等の標準財政規模に対する比率。

繰上償還などにより地方債現在高が対前年度比で約4億2,464万円減ったこと、また、地方税の増などにより標準税収入額等が9,625万円増えたことなどにより、単年度比率で0.1ポイント、3ヶ年平均で0.7ポイントの減少となった。

経常収支比率

財政課



◎説明

経常的に支出する経費に、地方交付税など経常的な一般財源収入がどの程度充てられているかを示す比率。

歳出において、対前年度比で、人件費に充当した経常的一般財源で約8,116万円の増、扶助費に充当した経常的一般財源で約7,283万円の増、繰出金に充当した経常的一般財源で約7,928万円の増により、経常経費充当の一般財源全体で約1億7,263万円の増となっている。

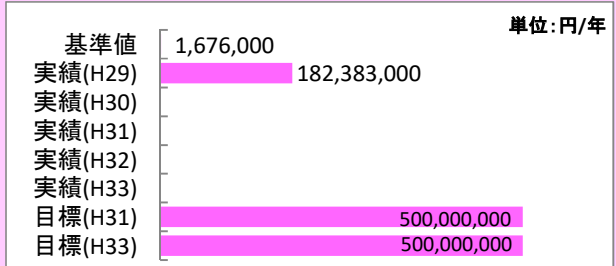
また、歳入の経常一般財源全体で約6億9,875万円の減となっており、この結果、H29年度の経常収支比率は、H28年度と比較して4.7ポイントの増となった。

【経常収支比率の計算式】

経常経費に充当した経常一般財源(14,137,145千円)/経常一般財源総額(16,820,236千円)×100=84.0%

【再掲】ふるさと応援寄附額

政策企画課

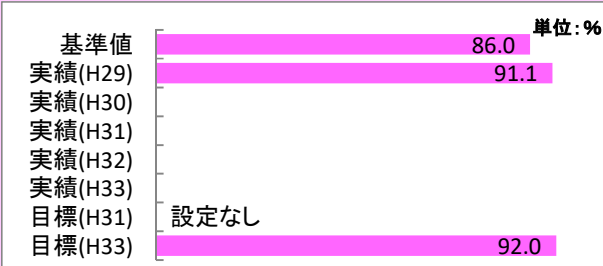


◎説明

ポータルサイトを増設することで寄附額及び件数が増加した。

市税の収納率

収納推進課



◎説明

法律に基づいた滞納処分を中心とした滞納整理に努めている。

差押さえた預金債権については即時取り立てし、動産については、市町村合同公売会やインターネット公売による換価を行い、滞納税への充当を図っている。

滞納処分を中心とした滞納整理を進めた結果、前年より0.95ポイントの収納率増となり、ほぼ目標値となっている。

また、収納額も前年度を2,016万円上回った。

全体

調定額 4,334,033千円・・・A
 収納額 3,950,012千円・・・B
 不納欠損額 16,201千円・・・C
 $B/(A-C)=91.48\%$

現年度

調定額 3,922,942千円・・・A
 収納額 3,866,268千円・・・B
 不納欠損額 4,157千円・・・C
 $B/(A-C)=98.66\%$

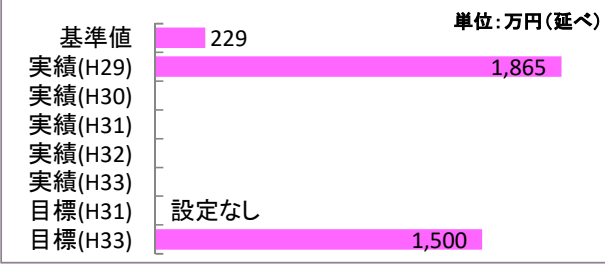
過年度

調定額 411,090千円・・・A
 収納額 83,744千円・・・B
 不納欠損額 12,044千円・・・C
 $B/(A-C)=20.99\%$

普通財産売却による収入額

財産管理課

単位:万円(延べ)



◎説明

普通財産の売却 15件 18,651,994円